

2022-23年度 国際ロータリー第2830地区

地区要覧



IMAGINE
ROTARY

RIテーマ

イマジン ロータリー

地区スローガン

ロータリアンの想いを繋ぐ



CONTENTS

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	4
ガバナーエレクトご挨拶	6
ガバナー補佐紹介	7
地区委員会活動計画	10
地区組織図	18
地区委員会構成	19
地区主要行事予定表	20
ガバナー公式訪問予定表	21
ガバナー公式訪問カレンダー	22
地区予算書	23
特別会計収支計算書	24
委員会活動予算書	24
送金カレンダー	25
報告カレンダー	26
ロータリー関係事務所一覧	27
地区内ロータリークラブ一覧表	28
地区事務所組織表	30
地区資金規定	32
地区運営資金要綱	34
会合旅費等負担一覧表	35
国際平和資金規定	38
地区表彰実施要綱	39
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明	
（ロータリークラブ）	42
ロータリー賞の目標と達成のワークシート	
（ローターアクトクラブ）	44
ロータリー賞の目標と達成のワークシート	
（インターアクトクラブ）	46
ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会	48
危機管理委員会規定	49
四つのテスト	
ロータリーの目的	
ロータリアンの行動規範	



IMAGINE ROTARY

2022-23年度 国際ロータリー会長

ジェニファー・ジョーンズ

IMAGINE ROTARY

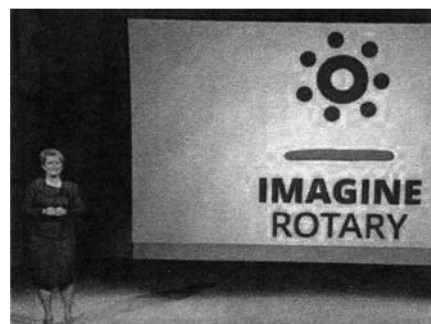
「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、
その世界に変化をもたらせると知っています。」

7月1日に国際ロータリー初の女性会長に就任するジョーンズ氏は、世界中のガバナーエレクトを対象とする年次研修行事である国際協議会に先立って今回の講演を行いました。

ジョーンズ氏は、ロータリーの力とつながりを生かした自身の体験を紹介しました。昨年、アフガニスタンからの米軍撤退が進む中、一人の会員から、ある若いアフガニスタン人の平和活動家を国外退避させるために力を貸してほしいと頼まれました。最初はどのようにしてよいかわからなかったものの、「ロータリーの不思議な力 (magic of Rotary)」を頼りに、数年前に出会った元ロータリー平和フェローに連絡。1日も経たないうちに、その活動家は退避者リストに加えられ、間もなくヨーロッパ行きの飛行機に乗ることができました。

果たしがいのある責任を会員が担えるように

会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要だとジョーンズ氏は述べ、例として自身が住む町について語りました。ウィンザー市はかつて、カナダの自動車産業の中心地でしたが、工場の閉鎖により数千人が職を失い、市は改革を迫られました。自動車工場が新しい部品やモデルを開発するのと同じように、同市は改革を実施。その結果、現在は農業関連産業と医療や宇宙航空の技術をリードする都市となりました。



「ロータリーでの私たちの中心的な役割は、各会員の参加を促すための適切な“部品”を見つけること」とジョーンズ氏。「詰まるところ、大切なのは会員にとっての快適さと会員への配慮です」積極的な参加こそが会員の維持にとって重要であり、会員がロータリーに何を期待するかを尋ねた上で、果たしがいのある責任を会員に与えることが必要だとジョーンズ氏は述べます。

「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的と意識と熱意を生み出します」「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

変化を受け入れることは、新しいクラブのモデルを受け入れること、と語るジョーンズ氏は、次年度に革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立することを次期ガバナーに求めました。「クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように、会員が積極的に参加できるようにしましょう」さらに、ロータリーアクト会員1名をロータリー公共イメージコーディネーターとして任命したこと、また、複数のロータリーアクトを委員会委員と会長代理として起用したことを発表しました。「私たちは、この素晴らしい組織のリーダーとしての役割を委ねられました」とジョーンズ氏。

「私たちは今、果敢に、目的意識をもって行動し、リーダーシップを発揮できるかどうかが問われています。」



2023年までにロータリー会員基盤の30%を女性にするというRI理事会の目標達成のタイムリミットが迫っていることにも触れ、110カ国以上で既にこの目標が達成されてはいるものの、世界全体での達成には程遠いとジョーンズ氏は言います。また、ロータリーアクトでは既に会員全体の50%以上が女性であることを指摘しました。

ジョーンズ氏は、ロータリーがインパクトをもたらしている世界各地の活動を訪問する計画を立てています。この訪問では、世界の切迫した課題への取り組みで協力する方法について、各地のリーダーと協議することも予定されています。「ロータリーは、つながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップをつくり出していく必要がある」とジョーンズ氏。「ロータリーでは、それをあらゆるレベルで行うことができます」「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです」。こう述べたジョーンズ氏は、ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、「それを実現させる責任は自分たちにある」と語り、次のように締めくくりました。

「昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。それは未来を描くことです。」

ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ
(カナダ・オンタリオ州) 会員

2022年1月20日次年度RI会長のテーマが「IMAGINE ROTARY」と発表されました。



今年7月1日に国際ロータリー初の女性会長に就任するジョーンズRI会長エレクトは、ガバナーエレクトを前に、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすように呼びかけました、以下スピーチからの抜粋です。

「想像してください、私達がベストを尽くせる世界を。私達は毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」また「私達には皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうか決めるのは私達です」と言い「昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです」と締めくくりました。

果たしがいのある責任を会員が担えるように、大切なのは会員にとっての快適さと会員への配慮です、「ロータリーでは参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します」果たしがいのある責任を会員に与えること、そして、変化を受け入れることは、新しいクラブのモデルを受け入れることも必要と語るジョーンズ氏は、次年度に革新的なクラブ、又は活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立することを時期ガバナーに求めました。「クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように会員が積極的に参加できるようにしましょう」



ガバナー挨拶

2022-23年度 地区ガバナー

田中常浩 (むつRC)

私はRIのテーマを考えた時、地区のテーマと目標を下記の通りにしました。中核的価値観である、職業・社会奉仕を中心に、親睦、高潔性、多様性、リーダーシップを大切にしながら、ロータリーのイメージ向上のためには、変わらなければならない所は受け入れ、変わらない本質を学びながら、生涯にわたる友人と共に楽しみながら行動し、地域に各クラブにインパクトを与えられる活動を、パストガバナーの力を借りながら、ガバナー補佐、地区委員会委員長・委員、クラブ会長・会員皆で一緒にやりましょう。

— 2022～23年度地区スローガン —

「ロータリアンの想いを繋ぐ」

(地区目標)

1. 退会防止と会員増強（会員基盤の15%を女性会員）
2. 新クラブ結成（衛星クラブ1・ローターアクトクラブ1）
3. デジタル化の推進（バーチャル参加・zoom活用）
4. 各クラブの将来像を打ち立てる（想像する）
5. アクトの翼復活（台湾）
6. 公共イメージ向上（テレビ・Facebook・SNS活用）
7. ロータリー賞への挑戦（5クラブ以上）
8. ロータリー財団自動定期寄付の推進
9. 米山記念奨学会寄付：特別寄付1万円/人、普通寄付3千円/人

各クラブが初めに取り組む事は、自分のクラブはどのようなのかを知る事が大事だと思います。

1. 退会防止と会員増強

退会防止の決めるには、会員をクラブに必要と思わせる事、居場所を与える事。
影響力のある人に推薦人になって貰い入会を促す。

2. 新クラブ結成

趣味が同じ、考えも似ている人同士の集まる新クラブが出来れば一つ以上作る。
衛星クラブを結成するために必要なスポンサークラブを探す。

3. デジタル化の推進

My rotary登録率70%を目標。
地区でzoomに必要な機材は全て揃えて貰う。
新型コロナウイルスで対面例会が難しいと思えば、ハイブリッド例会を奨励する。

4. 各クラブの将来像を打ち立てる

各クラブ会員数には差がありますが、1年後3年後5年後どうなっているか想像して貰い、
会員同士コミュニケーションを取りながら、将来像を語ってもらう。
戦略委員会を中心に、クラブの将来像を練ってもらい、広く会員に認知してもらう。

5. アクトの翼復活

2年間途絶えていた台湾への翼復活。
インターアクト会員が参加してからの態度、考え方に変化をもたせられる活動である。

6. 公共イメージ向上

地域に取ってロータリーのイメージはどうか。
テレビ、Facebook、SNSなどを活用して知って貰う。
ロータリーの奉仕活動に参加してもらい、コミュニケーションを取る事でイメージ向上に繋がる。

7. ロータリー賞への挑戦

クラブの活性化にも繋がるので、会長を中心に各クラブ実行委員会を設置する。

8. 財団への認知を深めてもらうため、定期寄付の推進、出来れば月々500円以上お願いしたい。

9. 米山・財団それぞれ寄付クラブゼロを0に、ご協力宜しくお願いします。

以上のように地区目標を持ちました。クラブ活性化がなされ、新クラブが出来れば幸いです。

また、ミラクル1200は次年度も継続です。皆様方のご理解をお願いします。これからロータリーのあるべき姿を皆さんと一緒に想像し、歩んで行きたいと思いますので今後ともご指導、ご協力よろしくお願い致します。



ご 挨 拶

2022-23年度 ガバナーエレクト

築 館 智 大 (八戸RC)

2023-24年度 ガバナーを拝命しました八戸ロータリークラブの築館智大で御座います。
ロータリー歴20年ですが、まだまだ知識が足りません。
田中年度を支え、どんどん勉強をし準備してまいります、皆さんの支えがなくては成しえない1年間だと思っています。
ご指導宜しく申し上げます。

私は、ロータリーのすべては奉仕活動から始まると思っています。
色々な形の奉仕活動をやっていきましょう。皆さんの地区の中で一般の方々が身近に感じられる奉仕活動をしましょう。ロータリーの精神、考え方を奉仕活動によって表現しましょう。伝えていきましょう。
色々な奉仕活動をすることにより、困難な奉仕活動でも、ミーティングを重ねることにより、会員相互の親睦が図られます。
一般の方々にも、よりロータリークラブを知ってもらえる機会が増えると思っています。
お金持ちの暇人クラブではありません。色々な形での奉仕活動をする団体です。
それを一般の皆さんにわかっていたいただければ、会員は増えていくと思います。

私の年度では、皆さんが楽しんでロータリー活動が出来ますように地区スタッフ一丸となってサポートを懸命にしております。
地区スタッフの方々には頑張ってくださいますが、会長、幹事の皆さんもどんどん意見、要望をおよせいただきたいと思っています。

み ん な で 楽 し く 奉 仕 活 動 を し ま し ょ う 。

プロフィール

生年月日	1955年3月3日	ロータリー歴:	
出身地	青森県八戸市	2001年6月	八戸ロータリークラブ入会
職 業	日本マクドナルド(株)フランチャイジー 有限会社 トムセカンド 代表取締役	2016~18年	地区ローターアクト委員長
最終学歴	工学院大学 電子工学科	2018~19年	クラブ会長
趣 味	溪流釣り・ゴルフ	2020~21年	南グループガバナー補佐

東第1グループガバナー補佐

佐々木 真 一 (むつ中央RC)



RI会長のジェニファー・ジョーンズ氏のテーマはIMAGIN ROTARYです。より良い世界を想像し、その実現のためにロータリアンは活動してほしい。と私はテーマを考えております。

田中ガバナーの地区スローガンは「ロータリアンの想いを繋ぐ」は先人のロータリアンが築き上げた基盤を大切に、発展させたいとの思いを感じました。又田中ガバナーは9項目の地区目標を掲げました。

RI会長のテーマ・田中ガバナーの地区スローガン・地区目標の達成・実現にむけ東第1グループのクラブの皆様と共に補佐の任期期間活動したいと思っております。地区のロータリアンの皆様のお力をお借りしながら非力な私ではありますが田中ガバナーのお力になればと思っております。今後一年間よろしく願いいたします。

東第2グループガバナー補佐

相 田 喜一郎 (三沢東RC)



この度、東第2グループのガバナー補佐を務めることになりました、三沢東ロータリークラブの相田喜一郎と申します。

ロータリー入会初年度に東日本大震災が発生し、先輩ロータリアンの奉仕活動のサポートを行ってから、本年度で13年目となりました。

そのころ最初に教えて頂いたのは、ロータリーは奉仕を行う人が集まる団体であり、親睦と奉仕が2本柱であるという事でした。

その後、若いころから何度も聞いたジョンレノンのイマジンを聞いたたびに、その歌詞にある「I wonder if you can---君にもできるんじゃないかな? ・できると思うよ」は「奉仕」をイメージし、「I hope someday you'll join us---いつかあなたもみんな仲間になって」は「親睦と団結・発信力」が、心の中でいつもリンクし様々な活動の中で、もう少し頑張ってみようかなと思っていました。

今年度、国際ロータリー初の女性会長ジェニファー・ジョーンズさんのテーマは「IMAGINE ROTARY」です。

また、田中常浩2830地区ガバナーは「ロータリアンの想いを繋ぐ」をスローガンとして9つの地区目標を掲げています。

「IMAGINE ROTARY」は世界にもたらす変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすことを呼びかけており、それは図らずも今の不安定な世界情勢に良い変化・影響をもたらす有益な力になるはずです。

それを支え・実現するのは各ロータリアンの想いです。

私ができることはほんのわずかですが、まずは原点である各ホームクラブの歴史・伝統を大切に、更なるクラブ運営のお手伝いが出てきます様に、そして地区と各クラブとの橋渡しができるよう努めて参りますので、東第2グループの各会長はじめ会員の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

西第1グループガバナー補佐

小 関 優 (鶴田RC)



2022-23年度、西第1グループのガバナー補佐を務めさせていただくことになりました、鶴田RCの小関優と申します。大役ですが田中ガバナーを補佐出来るようがんばって参りますので、よろしくお願い申し上げます。

今年度のRIテーマは、「IMAGINE ROTARY」です。ジョーンズRI会長のスピーチでは、「未来のことを想像し、その実現のために行動すること。」が求められております。ロータリアンひとりひとりの行動が未来を創ることになりますので、私もその一員として社会貢献して参りたいと思います。

また、地区スローガンは、「ロータリアンの想いを繋ぐ」です。今までロータリアンとして活動してきた先人たち、そして、現在ロータリアンとして活動されている先輩方や仲間たち。ロータリアンが大切にしてきた「奉仕の心」を未来へ繋ぐ活動をして参りたいと思います。

最後に、私事ですが、コロナワクチンを接種出来ない小さい子どもがいるため、コロナ感染症対策として、主にZOOMでの参加になることをご理解いただきたく存じます。

西第2グループガバナー補佐

中 村 公 成 (黒石RC)



西第2グループ（8クラブ）のガバナー補佐の役職を拝命しました黒石ロータリークラブの中村公成です。

2017-18年度に黒石ロータリークラブ創立50周年記念式典を開催した際に実行委員長として、西第2グループを訪問して、各々に長所や特色があり、大変勉強になった思い出があります。

また今回もガバナー補佐という大役をもらいましたので、各クラブを楽しみながら訪問して親睦をはかり、田中ガバナーと各クラブの円滑なパイプ役となるように精一杯努めて参ります。

コロナ禍ではありますが、こういう時代だからこそ人と人の繋がりを大切に、皆様がより良いロータリアンになりますように…… 宜しくお願い申し上げます。

中グループガバナー補佐

新岡 壮太郎 (青森モーニングRC)



2022-23年度、中グループガバナー補佐を務めることとなりました青森モーニングロータリークラブ所属の新岡壮太郎と申します。

ジェニファー・ジョーンズRI会長より2022-23年度のテーマ「イマジン・ロータリー」と発表され、田中常浩ガバナーからは「ロータリアンの想いを繋ぐ」を地区スローガンとして提唱され又、9つの地区目標を掲げられました。

この指針をよく理解し中グループの各クラブが行動計画を立て、同じ目標に向かう為の一助となるよう取り組み田中ガバナー補佐の役割を果たしてまいります。

地区目標9項目を達成できるようにクラブリーダーの皆さんと連携を取りながら、努力、実行して行きたいと思えます。

ガバナー補佐の役割は、RI会長、田中常浩ガバナーと各クラブのパイプ役です。ガバナーの方針を各クラブの皆さんに伝わるように取り組んでまいります。

中グループの会長・幹事・会員の皆様のご指導・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

南グループガバナー補佐

久保 隆 明 (八戸北RC)



2022-23年度、南グループガバナー補佐を仰せつかりました八戸北ロータリークラブの久保隆明です。平成18年に入会して以来、深くロータリーに関わってきたわけではない私にとって今回の大役は力不足であることは明白ではございますが、私なりに精一杯頑張りたいと思えます。

RI会長ジョーンズ氏のテーマ「IMAGINE ROTARY」、そして、田中ガバナーの地区スローガン「ロータリアンの想いを繋ぐ」をもとに、グループ内のロータリアンが一つになり、ロータリーの理想に一步でも近づけるよう、ガバナーとクラブとのパイプ役を務めて参ります。

1年間、よろしくお願ひ申し上げます。

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長

今 春淑

(十和田八甲RC)

新型コロナウイルス感染の影響でクラブの例会の開催が行われないのが現状と思います。田中年度クラブ拡大・会員増強委員長を仰せつかりました。今春淑（十和田八甲RC）です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2022-23年度、RI会長のテーマ「IMAGINE ROTARY」のもと、職業奉仕、社会奉仕の理念を行動し「親睦、高潔性、多様性」ロータリアンがリーダーシップを強化する機会作り、活動してまいります。

田中常浩ガバナーの2022-23年度地区スローガン「ロータリアンの想いを繋ぐ」地区目標として9項目を掲げております。

- ①退会防止と会員増強（会員基盤の15%を女性会員）（後継者、配偶者会員の推進）
- ②新クラブ結成（衛星クラブ1・ローターアクトクラブ1）

私達2830地区、2025年度までに「会員1200人」会員数になってないと、存続出来なくなり、合併になります。地区として存続できる最低ラインがあります。

何としても、新クラブの結成、会員増強（退会防止）が必要です。それによってクラブの財政や奉仕活動推進のために大きなプラスになり、奉仕活動上、プロジェクトの数や規模にとって有利となり、会員増強によって奉仕の理念、クラブ活性化（老・壮・青）のバランスを保ち推進できます。会員増強の為に、ガバナー公式訪問で会長は「再びミラクル1200実現」ひとりが一人に声掛け活動の継続を呼び掛けて頂き、ガバナー補佐6人の方、各グループの会長、幹事、クラブ増強委員長をガバナー補佐指導の基と、熱く伝えて増強活動への賛同を得て頂きたい。

クラブ拡大・増強委員会の目的は、会員基盤の増強と新クラブ（ローターアクトクラブを含む）結成と支援に繋がる戦略策定を特定・推進させることである。

責務として、クラブ会員増強委員長が入会促進と現会員の参加促進という実行できるよう支援する。

新クラブや異なる種類のクラブ結成を支援し、委員長は3年任期で、委員の中から継ぎの委員長を選出する事。

委員会として1年間のプログラムを計画いたしましたが、新型コロナウイルスの影響で計画倒れになり残念です。

2022-23年度 セミナー・会議の予定

- 5月 女性会員の集い
- 6月 クラブ拡大・会員増強委員会
- 7月 地区会員増強セミナー
- 11月 地区会員増強セミナー

最後に、クラブ拡大・会員増強委員会は各クラブとの増強活動の様子と、その成果を増強には至らないクラブの抱える問題を知人の会員から聞き取りをし、クラブの生の現状を知り地区の拡大増強の継続へと繋げて行きます。

現状を踏まえ、ご意見等お聞かせ頂きたく、今後とも会員皆様からのご協力の程お願いします。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長

上野 実穂

(八戸中央RC)

ロータリーの公共イメージを向上させることにより、ロータリーとはどのような組織なのか、どのような活動をしてどのような人達がいるのかを地域・社会に広め良いイメージを持ってもらう活動です。また、会員にも様々な活動を知ってもらい、意識・意欲を高め実際に活動に参加してもらうことでクラブの活性化が図れます。そして周りの友人・知人にロータリーについて語り、何度でも入会を強く勧めていただくようお願いします。

具体的行動として

1. 各クラブの活動CMを放映します。7月～9月末まで民放3局で81本。
2. 地元マスメディアに協力依頼。ポリオデー、地区大会、クラブ周年行事等。Facebook、インスタ等SNSの活用を増やす。普段の例会等40クラブ全ての投稿に期待。
3. マイロータリーの登録率を高める。登録率の低いクラブを応援する。

社会奉仕・職業奉仕部門

地区社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長
三上 貴生
(弘前RC)

今年度の活動として、各クラブに対して社会奉仕・職業奉仕調査を実施します。クラブの中にはすでに社会奉仕・職業奉仕をしているというクラブがたくさんあると思います。永年続けているというクラブもあります。それらをまとめ地区として把握することが必要であり今後の活動の基を作る調査であります。近年社会奉仕・職業奉仕は新しい基準のもとに次の段階に取り組むことが今後のロータリーに求められております。ロータリーの現況の課題でもあります会員増強・退会防止にもつながるこれからの新しい社会奉仕・職業奉仕に取り組みたいと思います。また、地区として、社会、職業奉仕大賞を設けて頂き地区大会において報賞するという制度を作って頂きたいと言うことを田中ガバナーをお願いをしたいと思います。

もうひとつの活動として、鈴木パストガバナー年度から実施している青森大学「じょっぱり経済学」が4月より開講されます。これまで数多くのロータリアンの皆さんの協力のもと実施されてまいりました。今年度も無事講師選定も終了して開講を待つばかりとなりました。「じょっぱり経済学」は4月から7月の毎週水曜日青森大学において14：40分から16：10分までの90分講義を行なっております。これは、学生は元より、一般市民、ロータリアンの皆さんにも解放されております。我々ロータリアンの社会奉仕・職業奉仕の一環としての役割も担っています。ロータリーの情報発信としても有意義な取り組みですし、青森ケーブルテレビの協力によるテレビ放映もあります。ロータリアンの皆さんにも気軽に講義を見て頂きたい特別な受講申し込みなどありませんので気軽においでくださいればクラブでの出席扱いにもなりますので足を運んで頂ければと思います。「じょっぱり経済学」についての詳細はガバナー月信にも掲載しますのでよろしくお願い致します。

国際奉仕部門

国際奉仕委員会



委員長
白山 春男
(十和田東RC)

国際奉仕委員会では、外国におけるポリオワクチン接種が、渡航自粛により実現していませんが、新型コロナウイルス収束のおりにはインドへ渡航したいと思います。その折には地区から多数の参加をお願い致します。

また、10月24日は世界ポリオデーであります。これはポリオ根絶の大切さについて認識を高める活動を実現したいと思います。その一環としてポリオポスターを委員会で制作しますので、地区内クラブロータリアンの所有する建物などに掲示して頂きたいお願い致します。

最後に各委員会、地区内クラブにおける活動に協力出来る部分があれば協力していきたいと思えます。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長
佐藤 健一
(青森RC)

活動方針

- ①各クラブにおいて財団の役割、必要性の理解を増進し、寄金実績を上げる
- ②全てのクラブにおいて地区補助金の活用を推進する
- ③地区又はクラブにおいてグローバル補助金による事業を実施する

具体的行動

- ①地区補助金・グローバル補助金による既活動記録から映像を作成し、PRに活用する
- ②クラブ訪問等を通じて、補助金事業実施と寄金推進のPRを図る

- ③各クラブ担当者に対する財団セミナー、補助金管理セミナーを開催する
(7月下旬、11月下旬頃)
- ④実施事業に関するメディア、SNSの活用を促進する

小委員会活動

- ①地区補助金委員会
- ②グローバル補助金委員会
- ③資金推進委員会
- ④平和フェローシップ・奨学金・学友委員会
- ⑤ポリオ対策委員会

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長
小田 桐隆夫
(むつRC)

地区補助金を活用して36RCが「社会奉仕」に取り組んでいます。

今年度は、全40クラブからの補助金申請が提出されることを望んでいます。

また「公共イメージ」の向上にも繋がる事なので各クラブの申請をお待ちしています。

- 7月 財団セミナー（前年度のプロジェクトを報告）。
- 8月 決定後地区補助金を各RCへ振り込み予定。
- 12月 財団セミナー（次年度地区補助金の要件）。
- 3月 次年度地区補助金の申請締切り（地区事務所へ）。
- 5月 次年度（申請プロジェクト審査）補助金決定。

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長
川崎 益美
(八戸北RC)

2012-13年度から始まりました、タイのRI3330地

区との「水と衛生の事業」ですが、今年が10年目の節目の年度となります。

これまで、タイのあまり衛生的によくない地区の学校等に浄水器の設置をしてまいりました。コロナの流行がパンデミックになりました過去2年間は、相手地区の要望で主に病院等への医療支援をしてまいりました。

1. 外科手術室設備改良事業

・完成式典 2021年6月28日

当地区負担 12,000ドル

- 内容
- ①手術室用浄水器の設置
 - ②手術室用空気清浄・排気システムの整備
 - ③手術室ライトの整備
 - ④手術室自動ドアの設置

2. 医療器具支援事業（脳卒中リハビリ対応プロジェクト）

・寄贈式典 2021年9月23日

当地区負担12,000ドル

- 内容
- ①電磁波治療機器 1台
 - ②超音波治療機器 2台
 - ③脳卒中リハビリケアに対処できる人材育成プログラム

3. 医療器具支援事業（コロナ患者支援対策）

・寄贈式典 2021年11月9日

当地区負担 15,000ドル

- 内容
- ①人口呼吸器
 - ②心電バイタルモニター（患者監視装置）

今年度支援した事業は、上記の内容でした。当地区はガバナーはじめ財団関係者がZOOMで寄贈式に参加いたしました。しかしながら、オンラインと通訳を介しているために当地区としては、思うような成果が感じられませんでした。

この反省に立ち今年度は、政府の渡航制限解除が前提となりますが、現地へ赴きリアルでグローバル補助金事業の成果を確認し、そして取材をして、地区のロータリアンの皆様や地域社会にPR活動をして、事業の成果と意義の認識を高めてまいります。

また、新規のグローバル補助金事業の問い合わせがありましたら、積極的に取り組んでまいります。一年間宜しくお願いいたします。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長

小林 俊一

(青森RC)

- 1、前年同様寄付ゼロクラブが無いよう取り組んで参ります
ロータリー活動の原点、原資が各寄金となっております、今年度も会員皆様のご理解とご協力をお願いします
- 2、各種管理はMYロータリー登録が必須となっておりますが、クラブセントラルでの入力をした管理を推進し、より現況が分かりやすくなるよう取り組んでまいります
- 3、ロータリーカード推進：昨今はタッチレス決済の普及加速を肌で感じております
決済ツールとしては劣勢気味ではありますが、会員皆様のホルダー推進とご利用拡大へご理解と協力をお願いしてまいります
- 4、田中年度は会員お一人当たりの年間目標が以下となっております
 - 年次基金 150ドル
 - ポリオプラス 30ドル
 - 国際平和資金 1500円

ロータリー財団部門

平和フェロシップ・奨学金・学友委員会



委員長

工藤 真人

(青森RC)

この委員会で扱う奨学金は、平和フェロシップ、グローバル補助金、地区補助金の3種類です。

平和フェロシップについては、毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェロシップが世界中から選ばれ、ロータリーからフェロシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。留学先大学院が国内外6大学に限定されるなど条件も厳しい奨学制度です。

グローバル補助金奨学金は、4年制大学を修了した方(または見込みの方)を対象に、ロータリーの重点分野(平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展)で活動する未来のリーダーを育成するためのものです。海外に留学を希望する、4年制大学を2年以上修了した方(または見込みの方)を対象に、ロータリー財団の奨学金を提供し、支援しています。

地区補助金奨学金は、高校3年生卒業予定者を募集して、大学へ入った際に奨学金を支給する制度です。

平和フェロシップ奨学生、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生とも今年度も募集いたします。

また、学友の掘り起こしを行い、学友の活躍などを紹介出来たらと考えています。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

ポリオプラス対策委員会



委員長

森内 忠良

(青森RC)

新型コロナウイルスの感染が止まらないなか、ウクライナ紛争も始まっている。また、ポリオウイルスについても野生株保有ウイルスによる感染が続いているのが、アフガニスタン、パキスタンの二カ国であるが、残念なことにマラウイでも関連株が検出された。

混沌とした政治情勢の中で残る0.1%のポリオとの闘いが最も困難であると言われている。紛争、文化的障壁、公的インフラの不足といった要因がロータリー予防接種活動の妨げ以外の何者でもない。

今年度は、2830地区のポリオワクチン投与活動の重鎮である、ドクター関場慶博パストガバナーをはじめ、ドクター鈴木唯司パストガバナー、ドクター土橋伸行委員、ドクター成田俊介委員の他、専門知識のあるドクターの方々とともに、ポリオ感染対策の認識の重要性を高めるレクチャー開催を計画している。

また、新型コロナウイルス感染状況を考慮・判断しながら世界ポリオデー(10月24日)に向けて各地

区グループとのイベントを開催。メディア（TV、SNS等）を利用した活動意義の周知などを行うことで、公共イメージもはかっていきたい。

成田ガバナーがつかないで来たインドのポリオワクチン投与活動の継続を他地区と連携して、田中ガバナー（2022-23年度）と行っていきたいと思う。しかし、前述のとおり不安定な国際情勢が続き、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、行動を制限される現状にある。

感染症の恐ろしさを身をもって感じている今、自分たちにできることを熟考することもポリオ対策の課題とも言えよう。

青少年奉仕部門

青少年交換留学委員会



委員長

岡山 信広

(六ヶ所RC)

田中ガバナーから拝命し、2022-23年度から青少年交換委員長を務めさせていただきます六ヶ所RCの岡山です。私は地区委員長も交換留学委員会も初めての事ですので、可能な限り2021-22年度に準備し、2022-23年度内は細川勝也前委員長の助力と委員皆さんの協力を頂戴しながら奉仕したいと考えております。

ロータリー青少年交流の主な目的は、『海外文化交流の機会、および平和と社会正義を推進するリーダーとして成長する機会を青少年に提供する』ことです。青森県内の15~19歳の学生がこのプログラムを活用して素晴らしい国際人・社会人になることを期待して奉仕したいと考えております。つきましては2830地区ロータリアンの皆様におかれましてはプログラムの趣旨をご理解頂き、派遣学生やホストファミリーのご紹介についてご協力を賜ればと存じます。

加えて、当プログラムは日本国外のクラブとのやり取りが発生するため、言葉と文化の壁という『心のハードル』が伴い、他の委員会同様に活動には負担を伴いますが、当委員会は2830地区のロータリアンであれば誰でも気軽に楽しく奉仕できる、持続可能な仕組みにも取り組みたいと考えております。

以下の1から9までが年度内における活動の概要

と考えております。

1. 活動を通じての委員会メンバーの友情の醸成
2. 青森県内におけるポスター・ビラ・口コミなどによる派遣学生の募集
3. 書類審査、面接による派遣学生の適正確認
4. 派遣学生と保護者に対する送り出し教育の実施
5. プログラム実施期間中の派遣学生とその家族のケア
6. 来日学生を派遣する他地区とのマッチングとプログラム実施前の調整
7. 来日学生を受け入れて頂くホストファミリーの募集と契約
8. プログラム実施期間中の来日学生とその家族、ホストファミリーのケア
9. 以上に付随するすべての活動

2022-23年度は派遣候補学生が2名いらっしゃいます。

1人目の希望派遣先はアメリカ合衆国です。派遣先の地区委員長から頂戴したメールには新型コロナウイルス感染症に関して楽観的なコメントがありました。合衆国内での感染者数が減少している事が理由と想像します。当地区からの派遣候補学生は2022年4月からは高校3年生のため、是非に交換留学を実現したいと考えております。

2人目の希望派遣先オーストラリアです。希望派遣先との具体的な交渉はできていない状況にあります。オーストラリアも新型コロナが減少しているようですので、日本の状況が落ち着き次第に遅滞なく交渉を開始したいと考えております。この派遣候補学生は2022年4月からは高校2年生に進級し次年度派遣も可能であるため無理をせず確実に実現したいと考えております。

2023-24年度の派遣候補学生が不在のため、本年5月14日の地区研修・協議会の参加者に対して募集要項を配布の上、細川委員長からも口頭で募集の声掛けをさせていただきます。今回の募集については締切日を9月30日、選考試験を10月10日に予定しております。

青少年奉仕部門

インターアクト委員会



委員長
松山 隆志
(野辺地RC)

地区委員会の活動と致しましては

①各インターアクトクラブの活動内容の報告及びインターアクターの交流の場である「年次大会」の実施 ②インターアクターを海外へ派遣しホームステイを経験、各自のスキルアップをはかる「アクトの翼事業」の実施 ③インターアクターの卒業に当たり在学中の功績を顕彰する「ガバナー賞」授与の3つと、日々の各クラブの活動を支援するということがあります。

年次大会については、大人数での「会合」開催がまだまだ難しい現在、その実施方法も含め実現に向けて検討していきたいと思えます。

アクトの翼事業の実施については、インターアクターの皆さんにとって非常に有意義な事業であることから、田中ガバナー（エレクト）の地区目標のひとつにもあげられております。関係各所との綿密な調整により、実現に向けて鋭意努力したいと思えます。

第2830地区には、20のインターアクトクラブがあり、それぞれの地域においてお世話頂いている提唱クラブの皆様とともにボランティア活動を展開しております。昨今の状況といたしましては「コロナ禍」の影響により対外的な活動は出来ないながらもそれぞれ工夫をこらしながら積極的に活動を続けているクラブが多いと報告を受けております。地区委員会と致しましては、このような活動をより効果的に実行して頂けるよう各お世話クラブ様に積極的な関与をお願いするとともに、共に活動できる場を創出頂くよう働きかけたいと思えます。

いずれにいたしましても各ロータリアンの皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

青少年奉仕部門

ローターアクト委員会



委員長
柴田 文彦
(むつ中央RC)

当地区内の5クラブ（青森RAC 五所川原RAC 弘前RAC 八戸RAC むつRAC）は、ここ2、3年衰退の一途をたどったのは否めません。昨年度青森大学RACが誕生し、6クラブとなり新たな決意の基に活性化を目指します。

先に述べたような現在の状況下でR Iからの”独立したクラブとして認めること””人頭分担金を払うこと”はできません。

衰退をたどったのは、パンデミックによる弊害と30歳までの年齢制限によるところだと思われれます。本来であれば世界中に友人をつくりながら、社会でおきている様々な課題にとりくむ18歳以上の意欲あるクラブのはずです。

活性化する手筈として、30歳の年齢制限を撤廃することで会員数を維持することと、ウイズコロナとしてコロナ下でも可能な活動を促します。

ローターアクト委員会としては、下記の通り活動計画します。

1. 地区RAC年次大会の開催
2. 地区委員会の開催
3. 各RACの例会へ地区委員又は委員長のメイキャップ参加

青少年奉仕部門

RYLA委員会



委員長
三浦 基
(青森RC)

2023年6月3日（土）・4日（日）に一泊二日の日程でRYLAプログラムを行います。ユースを集められる講師を委員会で検討し、とにもかくにも多くのユースを参集し、ロータリークラブを体験していただき、RYLAからロータリークラブに興味をもって

いただけるプログラムを実行し若手リーダーの育成をします。

実施予定場所：青森市

米山奨学委員会

米山奨学委員会



委員長

三浦 順子

(弘前アップルRC)

1. 当会への理解や奨学生との交流の場としてできるだけ多くのクラブで卓話をさせていただきたく各クラブの例会スケジュールの調整をお願いします。
2. クラブ例会や地区の行事に参加するし奨学生がロータリー活動への理解を深めてもらいたくスポンサークラブ以外のクラブにもお声をかけていただきたくお願いします。
3. 地区目標の寄付については普通寄付3,000円以上、特別寄付1万円以上をなにとぞよろしくお願いします。まだ寄付ゼロクラブがないようお取り計らいをお願いします。
4. スケジュール
 - 9月17日(土) 米山の集い
 - 10月2日(日) 米山奨学生地区大会出席
 - 12月3日(土) 次年度のための新米山生面接選考試験
 - 3月5日(日) 修了証書授与式
 - 4月9日(日) 新奨学生とカウンセラーオリエンテーション
 - 5月27日(土) 卓話講習会

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI委員会



委員長

米谷 恵司

(青森モーニングRC)

RLI委員会委員長を4年連続で拝命致します青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司です。

RLI (Rotary Leadership Institute) はロータリーリーダーシップ研究会の略語で、1992年アメリカ、ニュージャージー州の元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められました。そして現在は全世界110ヶ国、約300近い地区にロータリーの研究、研修組織として発展しております。また、我が地区はRLIの先進地区となっており、黒田パストガバナーはRLI日本支部特別顧問として、また山崎パストガバナーはRLI日本支部ファシリテーター委員会副委員長、源新パストガバナーはRLI地区代表ファシリテーターとしてご活躍されており、沢山のご指導をいただいております。

RLIの研修は予め決められたテーマのもと皆様で自由に意見を出し合うスタイルで行われます。そしてディスカッションリーダー (DL) は進行役として質問を投げかけながら参加者の自発的な考えや意見を引き出していきます。参加者は解答を求めるのではなく、テーマに対する参加者の発言を聞き、自分自身の解答や方向性を見出す研修になっています。この手法はロータリークラブの将来展望を考えるにあたり、クラブを牽引するリーダーの育成、そしてクラブの継続性、刷新性、活性化を図るうえで最も重要な事だと考えます。その為にはロータリアン各自のスキルアップが必要不可欠です。それを実現する為是非ともRLIを活用して頂きたいと考えております。

今年度は3月19日、20日PETSでのRLI手法の研修を検証するとともに、具体的に以下の事業を実施したいと考えております。

1. RLIの開催 (1泊2日の集中研修)
2. コロナ禍でも出来るRLIを目指し、ZOOM、ハイブリッド等の研修方法の模索
3. ディスカッションリーダーバンクの設置 (地区のバランスを考慮し各グループに同人数選定)
4. ディスカッションリーダーの資質向上、レベルアップを目指し年数回の研修会の開催
5. ディスカッションリーダー認定基準の策定
6. グループ毎にRLI出張講座の開催

RLI委員会は皆様クラブの益々の発展、活性化の為、精一杯お手伝いする所存でございますので、多数の参加を宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2830地区

地区案内



**IMAGINE
ROTARY**

地区組織図	18
地区委員会構成	19
地区主要行事予定表	20
ガバナー公式訪問予定表	21
ガバナー公式訪問カレンダー	22
地区予算書	23
特別会計収支計算書	24
委員会活動予算書	24
送金カレンダー	25
報告カレンダー	26
ロータリー関係事務所一覧	27
地区内ロータリークラブ一覧表	28
地区事務所組織表	30

2022-23年度 国際ロータリー第2830地区 組織図

◎委員長 ○副委員長 (敬称略(順不同))

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副理事長) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ガバナリー, 副ガバナリー) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 地区研修委員会, 地区研修リーダー) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ガバナリー指名委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際大会推進委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 地区諮問委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ガバナリー補佐, 地区表彰委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ロータリーの友地区代表委員) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 戦略計画委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 危機管理委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 地区研修委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ガバナリー指名委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際大会推進委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 地区諮問委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., ガバナリー補佐, 地区表彰委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 米山記念奨学委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 米山記念奨学委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 青少年奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 社会奉仕・職業奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 社会奉仕・職業奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 公衆イメーショ向上部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 公衆イメーショ向上部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 米山記念奨学委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 米山記念奨学委員会) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 青少年奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 国際奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 社会奉仕・職業奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 社会奉仕・職業奉仕部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 公衆イメーショ向上部門) and Name/Details.

Table with 2 columns: Position (e.g., 公衆イメーショ向上部門) and Name/Details.

2022 - 23年度 地区委員会構成

◎委員長 ○副委員長 (敬称略、順不同)

ガバナー	田中 常浩(むつ)				
ガバナーエレクト	築館 智大(八戸)				
副ガバナー	成田 秀治(五所川原イヴニング)				
研修委員会	◎沼田 廣(青森)		○源新 和彦(八戸北)		
ガバナー指名委員会	佐々木千佳子(十和田)	◎今井 高志(弘前)	沼田 廣(青森)	源新 和彦(八戸北)	成田 秀治(五所川原イヴニング)
地区諮問委員会	黒田 正宏(八戸南)	関場 慶博(弘前アップル)	大柳 繁造(青森)	島村吉三久(五所川原イヴニング)	川口彰五郎(おいらせ)
	笹森 剛(弘前)	鐘ヶ江義光(八戸東)	山崎 淳一(五所川原)	村井 達(八戸)	小山内康晴(弘前)
	北山 輝夫(八戸北)	工藤 武重(弘前西)	鈴木 唯司(青森モーニング)	長嶺 康廣(八戸南)	佐々木千佳子(十和田)
	今井 高志(弘前)	沼田 廣(青森)	源新 和彦(八戸北)	成田 秀治(五所川原イヴニング)	
財務委員会	◎宮川佐紀男(むつ)		三戸 靖史(五所川原イヴニング)	小林 幹夫(八戸)	
地区表彰委員会	◎成田 秀治(五所川原イヴニング)		田中 常浩(むつ)	築館 智大(八戸)	ガバナー補佐6名
国際大会推進委員会	◎田中 常浩(むつ)		○柴田 文彦(むつ中央)	ガバナー補佐6名	
R L I 委員会	【日本支部顧問】黒田 正宏(八戸南) 日本支部ファシリテーター-副委員長 山崎 淳一(五所川原) 地区代表ファシリテーター 源新 和彦(八戸北) 米谷 恵司(青森モーニング) 阿保 康雄(青森モーニング) 西田 文仁(青森) 石川佳共子(青森) 久畑 茂治(十和田) 最上 伸子(青森モーニング) 瀬川 孝友(青森) 三浦 真弘(弘前) 道尻 誠助(八戸)				
戦略計画委員会	◎山崎 淳一(五所川原)	田中 常浩(むつ)	成田 秀治(五所川原イヴニング)	築館 智大(八戸)	花田 勝彦(五所川原)
危機管理委員会	◎鈴木 唯司(PG・医師)	田中 常浩(ガバナー)	成田 秀治(直前ガバナー)	築館 智大(ガバナーエレクト)	花田 勝彦(GN・弁護士)
	白山 春男(国際奉仕)	上野 実穂(公共イメージ)	岡山 信広(青少年交換)	松山 隆志(インターアクト)	柴田 文彦(ローターアクト)
	三浦 順子(米山記念奨学)	三浦 基(RYLA)	白取 静子(外部)	角田 妙子(外部)	
地区会計監査委員会	◎北山 輝夫(八戸北) 島浦 理(八戸西) 高木 邦夫(五所川原中央)				
地区財団監査委員会					
ガバナー補佐	東第1グループ: 佐々木真一(むつ中央)		東第2グループ: 相田喜一郎(三沢東)		西第1グループ: 小関 優(鶴田)
	西第2グループ: 中村 公成(黒石)		中グループ: 新岡壮太郎(青森モーニング)		南グループ: 久保 隆明(八戸北)
ロータリーの友地区代表委員	石川佳共子(青森)				

会員増強部門	アドバイザー: 笹森 剛PG	クラブ拡大	◎今 春淑(十和田八甲)	下久保淳一(十和田八甲)	山端 政博(十和田)
	副アドバイザー: 佐々木千佳子PG	会員増強委員会	寺田 和仁(五所川原)	上野 美穂(八戸中央)	宮本 達子(青森)
公共イメージ向上部門	アドバイザー: 今井 高志PG	公共イメージ	◎上野 実穂(八戸中央)	花田 仁(三沢東)	中畑 肇(弘前西)
	副アドバイザー: 鐘ヶ江義光PG	向上委員会	三枝慎太郎(青森)	橋本八右衛門(八戸)	赤城麻衣子(五所川原イヴニング)
社会奉仕・職業奉仕部門	アドバイザー: 工藤 武重PG	社会奉仕	◎三上 貴生(弘前)	蒔苗 俊二(弘前西)	榎引 大樹(青森)
	副アドバイザー: 源新 和彦PG	職業奉仕委員会	小田桐 浩(五所川原イヴニング)	渡邊 英司(むつ)	
国際奉仕部門	アドバイザー: 関場 慶博PG	国際奉仕委員会	◎白山 春男(十和田東)	畑中 一之(むつ)	楠美 知剛(青森)
	副アドバイザー: 鈴木 唯司PG		坂本 幸光(鶴田)	山口 英勝(むつ)	東 幸順(むつ)
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会 アドバイザー: ◎佐藤 健一(青森) 長嶺 康廣PG 副アドバイザー: 佐々木真一(むつ中央) 成田 俊介(弘前西) 島村吉三久PG	地区補助金委員会	◎小田桐隆夫(むつ)	田中 正子(青森)	林 均(青森)
		グローバル補助金委員会	新岡壮太郎(青森モーニング)	大橋 央雅(八戸南)	奈良 昭仁(つがる)
		資金推進委員会	◎川崎 益美(八戸北)	朝倉 和広(弘前東)	源新 育子(八戸北)
		平和フェロウシップ奨学金・学友委員会	◎小林 俊一(青森)	越田 忠和(青森)	
		ポリオプラス対策委員会	◎工藤 真人(青森)	宮本 達子(青森)	
			◎森内 忠良(青森)	土橋 伸行(青森モーニング)	
青少年奉仕部門	アドバイザー: 小山内康晴PG 副アドバイザー: 成田 秀治直前G	青少年交換委員会	◎岡山 信広(六ヶ所)	細川 勝也(弘前)	伊藤 幸生(青森)
		インターアクト委員会	佐々木文仁(三沢)	蛇沢 公洋(東北)	吉田 敏宏(おいらせ)
		ローターアクト委員会	◎松山 隆志(野辺地)	石橋 博仁(三沢)	伊藤 園子(八戸中央)
			田中常三郎(おいらせ)	光野恵美子(むつ)	
米山記念奨学部門	アドバイザー: 村井 達PG 副アドバイザー: 北山 輝夫PG	米山記念奨学委員会	◎柴田 文彦(むつ中央)	小枝 花奈(青森)	蒔苗亜希子(青森北東)
			正部家光彦(八戸)	丸海老 隆(五所川原)	
	◎三浦 基(青森)	白鳥 五大(青森)	百田 忠(野辺地)		
	竹内 知弘(弘前西)	工藤 孝子(弘前東)	河端 一秀(弘前)		
	◎三浦 順子(弘前アップル)	野坂 幸子(野辺地)	高井 孝治(つがる)		
	佐藤玲恵子(弘前西)	佐藤 一尚(青森)	成田 学(弘前アップル)		
		平野 榮子(八戸北)			

地区事務所	地区幹事長	藤野 芳孝(むつ)					
	地区副幹事長	佐藤 裕介(むつ大畑衛星) 黒沢 悟(むつ)					
	地区会計長	宮川佐紀男(むつ)					
	地区幹事	波岡 悦郎	白濱 憲一	畑中 一之	峯 雅夫	光野恵美子	
	専属事務局員	浅利 育子	木村 一彦	工藤 直克	東 幸順	磯沼慎一郎	
		柴田 文彦	前川原 亨(むつ中央)		成田 行大	柳谷 敬	熊谷圭之輔(むつ)
					竹内 崇高	溢谷 達也(むつ)	

2022 - 23年度 地区主要行事予定表

開催年月日			行 事 名	開催場所
2022	7月	1(金)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
		23(土)	第1回ロータリー財団セミナー	アスパム
	9月	5(月)~6(火)	ガバナーエレクト研修セミナー《GETS》	グランドプリンスホテル高輪
		7(水)	地区研修リーダーのためのセミナー《DTS》	グランドプリンスホテル高輪
		17(土)	米山の集い	未定
		24(土)	十和田八甲FC創立20周年	十和田市文化センター/ サン・ロイヤルとわだ
		30(金)	地区大会記念ゴルフ大会・RI会長代理歓迎晩餐会	スリーハンドレッドGC/ むつグランドホテル
	10月	1(土)	会長幹事会及び地区指導者育成セミナー・大懇親会	むつグランドホテル
		2(日)	地区大会	下北文化会館
		10(月)	2023-24年度長期青少年交換派遣候補学生選考試験	未定
11月	19(土)~22(火)	第51回ロータリー研究会	神戸ポートピアホテル他	
12月	3(土)	次年度のための新米山奨学生面接選考試験	未定	
	11(日)	ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会	ホテル青森	
2023	1月	8(日)~12(木)	ガバナーエレクト国際協議会	アメリカ・オーランド
	2月	25(土)	2023-24年度 地区チーム研修セミナー(DTTS)	八戸グランドホテル
	3月	5(日)	修了証書授与式	未定
		25(土)~26(日)	2023-24年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)	八戸グランドホテル
	4月	9(日)	新奨学生とカウンセラーオリエンテーション	未定
		20(木)~21(金)	クラブ活性化セミナー2023	会場および開催方法未定
	5月	13(土)	2023-24年度 地区研修・協議会(DTA)	八戸市公会堂/ プラザアーバンホール
		27(土)	卓話講習会	未定
		27(土)~31(水)	国際ロータリー年次大会 メルボルン大会	オーストラリア・メルボルン
	6月	3(土)~ 4(日)	RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)	青森市

2022-23年度 ガバナー公式訪問予定表

	クラブ名	例会日	会長・幹事面談	クラブ協議会	公式訪問例会	例会場所
東第1グループ	む つ	10月 4日(火)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	むつグランドホテル
	野 辺 地	8月 2日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	野坂屋 蔵
	七 戸	8月 4日(木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	七戸商店会協同組合 2F
	東 北	7月25日(月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	青森原燃テクノロジーセンター
	む つ 中 央	8月31日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	はねやホテル
	六 ケ 所	9月29日(木)	10:00~	11:00~	12:00~13:30	スバハウスろっかぽっか
東第2グループ	三 沢	9月27日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	きざん三沢
	十 和 田	8月 9日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	サン・ロイヤルとわだ
	十 和 田 東	8月 4日(木)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	サン・ロイヤルとわだ
	お い ら せ	7月27日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	レストランカワヨグリーンロッヂ
	三 沢 東	8月18日(木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	きざん三沢
	十和田八甲	8月 3日(水)	10:00~	11:00~	12:00~13:00	サン・ロイヤルとわだ
西第1グループ	五 所 川 原	8月10日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテルサンルート五所川原
	金 木	8月23日(火)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	奴寿し
	鱒 ケ 沢	9月 1日(木)	15:30~	16:30~	18:00~19:00	水軍の宿
	鶴 田	8月 1日(月)	10:00~	11:00~	12:00~13:00	鶴田町役場国際交流会館
	五所川原中央	7月28日(木)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	ホテルサンルート五所川原
	つ が る	8月30日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	つがる市森田農村環境改善センター
	五所川原イヴニング	7月14日(木)	15:00~	16:00~	17:00~18:00	ホテルサンルート五所川原
西第2グループ	弘 前	8月 8日(月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテルニューキャッスル
	弘 前 東	8月24日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	アートホテル弘前シティ
	板 柳	9月 6日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	板柳町商会
	黒 石	9月 1日(木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	赤提灯
	大 鱒	9月20日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	山忠会館
	弘 前 西	8月18日(木)	16:30~	17:30~	19:00~20:00	ホテルニューキャッスル
	平 賀・尾 上	9月20日(火)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	南田温泉ホテルアップルランド
	弘前アップル	8月29日(月)	17:00~	18:00~	19:00~20:00	弘前総合学習センター
中グループ	青 森	7月21日(木)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	ホテル青森
	青 森 北 東	9月21日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテル青森
	青 森 中 央	9月 5日(月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテル青森
	青森モーニング	8月22日(月)	16:00~	17:00~		ホテル青森
		8月23日(火)			8:00~ 9:00	ホテル青森
南グループ	八 戸	7月20日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸グランドホテル
	八 戸 東	9月 9日(金)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸グランドホテル
	三 戸	8月 3日(水)	15:00~	16:00~	17:00~18:00	田岩本店 2F
	五 戸	9月14日(水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	まきば温泉
	南 部	9月13日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	チェリウス
	八 戸 北	7月19日(火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 南	8月25日(木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸パークホテル
	八 戸 中 央	8月22日(月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 西	9月22日(木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル

2022-23年度 ガバナー公式訪問カレンダー

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
					五所川原イブニング 15:00~		
	17	18 (祝日) 海の日	19 八戸北 10:00~	20 八戸 10:00~	21 青森 16:00~	22	23
	24	25 東北 10:00~	26	27 おいらせ 10:00~	28 五所川原中央 16:00~	29	30
8月	31	1	2	3	4	5	6
		鶴田 10:00~	野辺地 10:00~	十和田八甲 10:00~ 三戸 15:00~	七戸 10:00~ 十和田東 16:00~		
	7	8	9	10	11	12	13
		弘前 10:00~	十和田 10:00~	五所川原 10:00~	(祝日) 山の日		
	14	15	16	17	18	19	20
					三沢東 10:00~ 弘前西 16:00~		
	21	22 八戸中央 10:00~ 青森M 16:00~	23 青森M 8:00~ 金木 16:00~	24 弘前東 10:00~	25 八戸南 10:00~	26	27
9月	28	29	30	31	1	2	3
		弘前アップル 17:00~	つがる 10:00~	むつ中央 10:00~	黒石 10:00~ 鯉ヶ沢 15:30~		
	4	5	6	7	8	9	10
		青森中央 10:00~	板柳 10:00~			八戸東 10:00~	
	11	12	13	14	15	16	17
			南部 10:00~	五戸 10:00~			
18	19	20	21	22	23	24	
	(祝日) 敬老の日	大鰐 10:00~ 平賀・尾上 16:00~	青森北東 10:00~	八戸西 10:00~	(祝日) 秋分の日		
10月	25	26	27	28	29	30	1
			三沢 10:00~		六ヶ所 10:00~		
	2	3	4	5	6	7	8
			むつ 16:00~				
	9	10	11	12	13	14	15
		(祝日) スポーツの日					
	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	

2022-23年度 地区予算書

〔事業活動収入の部〕

項目	内 訳	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
地区資金	一般会費収入 (@25,000円)	28,750,000	28,750,000	0	25000円×1150名
	特別会費収入	3,105,000	3,220,000	-115,000	2700円×上下期会員数
RIガバナー基本業務交付金		868,296	868,296	0	
雑収入	利息等	300	100	200	
	合 計	32,723,596	32,838,396	-114,800	

〔事業活動支出の部〕

項目	内 訳	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
1. 事業支出	計	23,572,250	23,487,250	85,000	
①会議・研修費支出	計	7,200,000	7,000,000	200,000	
	地区研修委員会	100,000	100,000	0	規定上限 20万(15)
	地区チーム研修セミナー	400,000	200,000	200,000	規定上限 20万 以下省略(14)
	会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	規定上限 40万 地区運営資金要綱(5)
	地区研修・協議会	400,000	400,000	0	規定上限 40万(1)
	IM(グループ合同会議)	600,000	600,000	0	グループ各10万×6地区(3)
	地区大会	5,000,000	5,000,000	0	
	// (運営資金要綱によるもの)	300,000	300,000	0	規定上限 30万(2)
②運営活動支出	計	1,000,000	1,000,000	0	
	諮問委員会	250,000	250,000	0	
	ガバナー補佐会議	200,000	200,000	0	
	戦略計画会議	100,000	100,000	0	
	地区危機管理委員会	50,000	50,000	0	
	// 実務活動費(事故発生時)	100,000	100,000	0	
	// RIJYEM	100,000	100,000	0	保険加入
	RI委員会	200,000	200,000	0	
③委員会活動	計	5,550,000	5,550,000	0	
	クラブ奉仕部門(会員増強)	300,000	300,000	0	
	クラブ奉仕部門(広報・IT⇒公共イメージ)	1,100,000	1,100,000	0	
	社会奉仕・職業奉仕部門	400,000	400,000	0	
	国際奉仕部門	300,000	300,000	0	
	ロータリー財団部門	750,000	750,000	0	ポリオ対策費含む
	青少年奉仕部門(青少年交換委員会)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加費補助を含む
	// (インターアクト委員会)	400,000	400,000	0	
	// (ローターアクト委員会)	500,000	500,000	0	
	// (ライラ委員会)	600,000	600,000	0	
	米山記念奨学会部門	400,000	400,000	0	
④活動助成金支出	計	6,800,000	6,800,000	0	
	ガバナー活動助成金	2,000,000	2,000,000	0	規定上限 200万(12)
	ガバナー活動(公式訪問費用)	800,000	800,000	0	
	ガバナーエレクト活動助成金	400,000	400,000	0	規定上限 40万(7)
	ガバナーノミニ活動助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万(18)
	ガバナー補佐活動助成金	1,000,000	1,000,000	0	40クラブ×25000 規定(6)
	青少年交換受入クラブ助成金	400,000	400,000	0	受け入れクラブ20万円×2クラブ
	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万(8)
	ガバナーエレクト研修セミナー参加助成金	200,000	200,000	0	規定上限 20万(16)
	国際大会地区代表出席者参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万(11)
	RI諸事業参加助成金	1,000,000	1,000,000	0	規定上限 200万(17)
	他地区交流助成金	300,000	300,000	0	タイ水事業他
⑤地区拠出金支出	計	822,250	937,250	-115,000	
	ガバナー会運営協力金	230,000	230,000	0	1150名×100円×2
	ロータリー文庫運営協力金	230,000	345,000	-115,000	1150名×100円×2
	米山梅吉記念館協力金	115,000	115,000	0	1150名×100円
	RI日本青少年交換委員会協力金	230,000	230,000	0	1150名×100円×2
	世界平和フェロー支援協力金	17,250	17,250	0	1150名×15円
⑥その他事業費	計	2,200,000	2,200,000	0	
	表彰状・記念品代	400,000	400,000	0	
	ガバナーエレクト社行会	400,000	400,000	0	規定上限 40万(4)
	直前ガバナー引退記念品代	100,000	100,000	0	規定上限 10万(9)
	ガバナー月信	100,000	100,000	0	
	送料・写真代・ファイル代支出	100,000	100,000	0	
	新設クラブ助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万(10)
	地区規定による旅費交通費支出	1,000,000	1,000,000	0	
2. 管理費支出	計	8,600,000	8,600,000	0	
	地区事務所管理費	8,300,000	8,300,000	0	
	// (ガバナーエレクト分)	300,000	300,000	0	
3. 特別資産取得支出	規定審議会代議員旅費助成積立金	100,000	100,000	0	規定上限 10万(13)
4. 予備費支出	予備費	451,346	651,146	-199,800	
	合 計	32,723,596	32,838,396	-114,800	

内 訳	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
一般会計収入予定額	32,723,596	32,838,396	-114,800	
一般会計支出予算額	32,723,596	32,838,396	-114,800	
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	21,607,370	21,607,370	0	2020-21年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	21,607,370	21,607,370	0	

2022-23年度 特別会計収支計算書

国際平和資金 特別会計

項目	項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	献金収入	1,725,000	1,725,000	0	1500円×1150名
	雑収入			0	
	収 入 計	1,725,000	1,725,000	0	

項目	項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
支 出	国際奉仕部門 (新規事業調査他)	300,000	300,000	0	
	青少年奉仕部門 (アクト交流会)	1,100,000	1,100,000	0	
	予備費 (災害支援他)	325,000	325,000	0	
	支 出 計	1,725,000	1,725,000	0	

項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	2020-21年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	

米山記念奨学会 特別会計

項目	項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	米山記念奨学会交付金	580,000	580,000	0	米山記念奨学会より
	米山奨学生選考試験補助費	140,500	140,500	0	米山記念奨学会より
	委員会活動費	400,000	400,000	0	地区一般会計より
	ロータリアン会費	100,000	100,000	0	登録料収入
	収 入 計	1,220,500	1,220,500	0	

項目	項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考	
支 出	奨学生活動費	米山フォーラム・米山の集い	500,000	500,000	0	
		修了証書授与式	200,000	200,000	0	
		オリエンテーション・歓迎会	200,000	200,000	0	
	米山奨学生選考試験費	140,500	140,500	0		
	予備費	180,000	180,000	0		
	支 出 計	1,220,500	1,220,500	0		

2022-23年度 委員会活動予算書

部 門	項目 (内 訳)	2022-23 田中(A)	2021-22 成田(B)	増減 (A)-(B)	備 考
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	300,000	300,000	0	
	公共イメージ向上委員会	1,100,000	1,100,000	0	
社会奉仕・職業奉仕部門	社会奉仕・職業奉仕委員会	400,000	400,000	0	
国際奉仕部門	国際奉仕委員会	300,000	300,000	0	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	500,000	500,000	0	
	地区補助金委員会			0	
	グローバル補助金委員会			0	
	資金推進委員会			0	
	奨学金・学友委員会			0	
	ポリオプラス委員会	250,000	250,000	0	ポリオ対策費
青少年奉仕部門	青少年交換委員会 (ローテックス関連含む)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加費補助を含む
	インターアクト委員会	400,000	400,000	0	
	ローターアクト委員会	500,000	500,000	0	
	RYLA	600,000	600,000	0	
R米山記念奨学部門	R米山記念奨学委員会	400,000	400,000	0	
	収 入 計	5,550,000	5,550,000	0	

2022 - 23年度 送金カレンダー

区分	送金項目	年額/1人	送金額	摘要	納入期限	送金先	送金報告先
国際ロータリー関係	人頭分相金 (10名未満も実人数分)	\$71	\$ 35.5 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2022.7/31 上期	三井住友銀行新宿通支店 普通預金 NO.6733244 国際ロータリー日本事務局	【送金明細書にて】 国際ロータリー 日本事務局経理室 FAX: 03-5439-0405
	人頭分相金		\$ 35.5 × 会員数	2023年1/1現在会員数	2023.1/31 下期		
	比例人頭分相金		半期人頭分相金 ÷ 6 × 在籍月数	2022.7/1 ~ 12/1 入会の会員数	2022.1/31		
	RI規定審議会分相金	\$1	半期人頭分相金 ÷ 6 × 在籍月数	2023.1/1 ~ 6/1 入会の会員数	2023.7/31		
	「げ・ロータリアン」誌購読料 (RI機関雑誌)	\$24	\$ 11 × 会員数	2022.7/1現在会員数	2022.7/31		
			\$ 12 × 購読部数	標準クラブ定款第15条を参照	2022.7/31 上期		
			\$ 12 × 購読部数		2023.1/31 下期		
R米山記念奨学会	ロータリーの友 購読料	¥3,000	¥1,500 × 購読部数	途中入会は月割¥250	2022.7/31 上期	三井住友銀行浜松町支店 普通預金 NO.7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所	申込先: 一般社団法人ロータリーの友事務所 FAX: 03-3436-5956
	ロータリーソング・CD		¥1,500 × 購読部数		2023.1/31 下期		
	普通寄付 (会員数分をクラブで送金)	¥3,000以上	CDの種類によります。	¥500単位で増額が可能	2022.7/31 上期		
	特別寄付 (ロータリアン、ロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受け付けます)	任意 (税制上の優遇措置対象)		累計3万円以上	2023.1/31 下期		
				累計10万円毎			
				累計5万円以上50万円未満			
				累計50万円以上100万円未満			
				累計100万円以上			
				累計2022年7/1現在会員数			
				累計2023年1/1現在会員数			
地区関係	地区資金	¥25,000	¥12,500 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2022.7/31 上期	三井住友銀行京橋支店 普通預金 NO.0920373 (公財) ロータリー米山記念奨学会 FAX: 03-3578-8281 E-mail mail@rotary-yoneyama.or.jp	【普通寄付送金明細書】 【特別寄付送金明細書】 (公財) ロータリー米山記念奨学会 FAX: 03-3578-8281 E-mail mail@rotary-yoneyama.or.jp
	ガバナー会運営協力金	¥200	¥100 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2023.1/31 下期		
	ロータリー文庫運営協力金	¥200	¥100 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2023.1/31 下期		
	RIJYM維持協力金	¥200	¥100 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2023.1/31 下期		
	地区大会協力金	¥2,000	¥2,000 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2022.7/31 上期		
	米山梅吉記念館協力金	¥100	¥100 × 会員数	2022年7/1現在会員数	2023.1/31 下期		
				2023年1/1現在会員数	2023.1/31 下期		
				2022年7/1現在会員数	2022.7/31 上期		
				2023年1/1現在会員数	2023.1/31 下期		
				例会時の献金			

2022 - 23年度 報告カレンダー

No.	報告事例	報告期限	報告先	備考
1	会員数及び出席報告	翌月15日必着	地区事務所	
2	クラブ計画及び目標の要約	7月1日まで	RI日本事務局	RIオンラインにて「クラブセントラル」に入力
3	クラブ活動計画書	公式訪問の2週間前	地区事務所へ3部送付 (ガバナー、担当ガバナー 補佐、地区事務所)	郵送にて
4	次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿記載資料)	2月1日まで	RI日本事務局	RIオンライン入力
5	国際大会信任状証明書及び投票 代議員カード	4月末日まで	地区事務所	用紙は3月頃RI世界本部よりメールにて配信
6	地区大会・選挙人証明	地区大会	地区大会選挙委員会 (地区事務所)	《参考》RI細則第15条
7	入会、退会届	その都度	RI世界本部	RIオンライン入力
8	入会、物故届(月信用)	翌月10日まで	地区事務所	月信掲載報告書に写真を添えてE-mail又はFAX
9	①クラブ会長、幹事職業分類、 例会場、日時	その都度	RI日本事務局 地区事務所 ロータリーの友事務所	用紙の指定のないものは任意の様式で
	②所在地域、クラブ名称の改正			
	③ローターアクト、 インターアクト関係			
	④クラブに関するその他の報告			

ロータリー関係事務所一覧

◇国際ロータリー世界本部

Rotary International World Headquarters	One Rotary Center, 1560 Sherman Ave. Evanston, Illinois 60201-3698, U.S.A. 電話：1 (アメリカの国番号) -847-866-3000 FAX：1-847-328-8554 ※ご契約の電話会社によりまして、識別番号が必要な場合がございますのでご注意ください。
--	--

◇国際ロータリー日本事務局

住所・FAX	〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F FAX (共通)：03-5439-0405
クラブ・地区支援室	電話：03-5439-5800 (定款・細則、クラブ・地区運営、My ROTARY アカウント登録)
財 団 室	電話：03-5439-5805 (財団への寄付、認証、補助金)
経 理 室	電話：03-5439-5803 (人頭分担金・寄付の入金処理)
業務推進・IT室	電話：03-5439-5802 (認証品発送、電子資料案内、システム関連)

ガバナー会事務局	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3433-6497 FAX：03-3433-7395 E-mail: govkai@orange.ocn.ne.jp
----------	--

RIJYEM事務所 (一般社団法人 国際ロータリー 日本青少年交換多地区合同機構)	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-6431-8106 FAX：03-6431-8107 E-mail: rijyem@air.ocn.ne.jp
---	---

ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506
---------	--

一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3436-6651 FAX：03-3436-5956
----------------------	--

公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
------------------------	--

公益財団法人 米山梅吉記念館	〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1 電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101
-------------------	---

国際ロータリー第2830地区 地区事務所	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 電話：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail: rid2830@outlook.jp URL: https://www.rid2830.org
-------------------------	--

2022-23年度 地区内ロータリークラブ一覧表

クラブ名	会長名	幹事名	クラブ住所	TEL / FAX		TEL / FAX	E-mail	〒 例会場住所	TEL / FAX		例会曜日	例会時間
				TEL	FAX				TEL	FAX		
東第1グループ	むつ	柳谷 敬	035-0063 むつ市若松町15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663/0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp	0175-22-2331 0175-22-2332	0175-22-2331 0175-22-2332	tanashou@jeans.ocn.ne.jp	むつ市田名部下道4 むつランドホテル	035-0021	0175-64-2512 0175-64-5255	火曜日 (第2火曜休会)	12:30
	野辺地	林 亨	039-3131 上北郡野辺地町字野辺地107-4 エールワンどうぶつ病院内	0175-72-1128/0175-72-1098 tokuya042@hb.tp1.jp	0175-64-2512 0175-64-5255	0175-64-2512 0175-64-5255		上北郡野辺地町字野辺地17-1 ウロコマル野坂屋 蔵 (KURA)	039-3131	0176-62-2075 0176-62-5101	火曜日	12:30
	七戸	松林 和子	039-2525 上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店会協同組合内	0176-62-2075/0176-62-5101 emacard@ia2.itkeeper.ne.jp	039-2525 039-2525	0176-62-2075 0176-62-5101		上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店会協同組合2階	039-2525	0175-63-2034 0175-63-2711	木曜日	12:30
	東北	小坂 義貴	039-2664 上北郡東北町乙供58 佛青森原燃テクロジセンター内	0175-63-2034/0175-63-2711 Tohoku.rc2830@gmail.com	039-2664 039-2664	0175-63-2034 0175-63-2711		上北郡東北町乙供58 佛青森原燃テクロジセンター内	039-2664	0175-22-8445 0175-22-4155	月曜日	12:30
	むつ中央	高橋 正一	035-0063 むつ市若松町15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663/0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp	035-0063 035-0063	0175-22-8445 0175-22-4155		むつ市本町2-7 はなやホテル	035-0035	0175-69-1126 0175-69-1131	水曜日 (第4水曜)18:30	12:30
	六ヶ所	小泉 陽大	039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337 六ヶ所げんねん企画内	0175-69-1126/0175-69-1131 rokkasho_rc@yahoo.co.jp	039-3213 039-3213	0175-69-1126 0175-69-1131		上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337 六ヶ所げんねん企画内	039-3213	0176-54-3111 0176-54-3114	木曜日	12:00
	三沢	小比羅香雅祥	033-0011 三沢市幸町1丁目11番20号	0176-57-1222/0176-57-5733 misawarc2830@cocca.ocn.ne.jp	033-0011 033-0123	0176-54-3111 0176-54-3114		三沢市堀口17-128 きざん三沢	033-0123	0176-23-2266 0176-23-2627	火曜日	12:30
	十和田	太田 薫	034-0034 十和田市東十五番町11-3-2 荷アート印刷内	0176-22-8610/0176-22-4822 artprint@movie.ocn.ne.jp	034-0034 034-0031	0176-23-2266 0176-23-2627		十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	034-0031	0176-23-2266 0176-23-2627	火曜日	12:30
	十和田東	竹島 直樹	034-0087 十和田市西十五番町1-4 柿本 聡	0176-23-4028/0176-51-3212 kakimoto@jomon.ne.jp	034-0087 034-0031	0176-23-2266 0176-23-2627		十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	034-0031	0178-56-3981 0178-56-3981	木曜日	12:30
	おいらせ	吉田 敏宏	039-2135 上北郡おいらせ町立蛇76-1 南部商工内	0178-56-2326/0178-56-2536 nanbushoukou@tea.ocn.ne.jp	039-2151 039-2151	0178-56-3981 0178-56-3981		上北郡おいらせ町向山5丁目3331 レストラン カワヨグリーンロッジ	039-2151	0176-54-3111 0176-54-3114	水曜日	12:30
三沢東	伊東 睦	033-0011 三沢市幸町1丁目11番20号	0176-57-1222/0176-57-5733 misawarc2830@cocca.ocn.ne.jp	033-0123 034-0031	0176-54-3111 0176-54-3114		三沢市堀口17-128 きざん三沢	033-0123	0176-23-2266 0176-23-2627	木曜日	12:30	
十和田八甲	田中 俊次	034-0082 十和田市西二番町4-11 十和田商工会議所内	0176-24-1111/0176-24-1563 miyamoto@towada.or.jp	034-0082 034-0031	0176-23-2266 0176-23-2627		十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	034-0031	0176-24-2050 0173-34-8811	水曜日 (第1)12:00	(第1)12:00	
五所川原	今 直樹	037-0063 五所川原市大字大町505-12 フジホームタッケン	0173-33-0035/0173-34-3675 fht@lime.plala.or.jp	037-0053 037-0202	0173-34-8811 0173-34-8816		五所川原市宇布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	037-0053	0173-52-2039 0173-53-3505	水曜日	12:30	
金木	荒瀬 利康	037-0202 五所川原市金木町玉水180-7 南荒瀬商店内	090-3367-1126/0173-52-5339 mataichi@honey.ocn.ne.jp	037-0202 038-2761	0173-52-2039 0173-53-3505		五所川原市金木町朝日山468-1 奴寿し	037-0202	0173-72-6511 0173-72-6511	火曜日	18:30	
鯉ヶ沢	稲見 鉄男	038-2701 西津軽郡鯉ヶ沢町大字北浮田町字今須87-1 社会福祉法人つくし会内	0173-72-7111/0173-72-7058 morio3678@gmail.com	038-2761 038-3503	0173-72-6511 0173-72-6511		西津軽郡鯉ヶ沢町舞戸町字下雷田26-1 水軍の宿	038-2761	0173-34-8811 0173-34-8816	木曜日	18:00	
鶴田	伊藤 泉	037-0004 五所川原市大字唐笠柳字藤巻522-9 佛サカモト住建内	0173-38-3393/0173-34-6776 sakamoto-j@tulip.ocn.ne.jp	037-0004 037-0053	0173-34-8811 0173-34-8816		北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1 鶴田町国際交流会館101研修室	038-3503	0173-42-7575 0173-42-7575	月曜日 (第1・2・4)12:00	(第1・2・4)12:00	
五所川原中央	高木 邦男	037-0011 五所川原市大字金山字千代鶴142 青松園内	0173-37-3111/0173-37-3112 seisho1@muse.ocn.ne.jp	037-0053 038-2811	0173-34-8811 0173-34-8816		五所川原市宇布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	037-0053	0173-42-7575 0173-42-7575	木曜日	18:30	
つがる	清野 悟	038-3105 つがる市柏広須野宮15-6 佛昭和住設内	0173-25-2501/0173-25-2504 jyuusetsu@r4.dion.ne.jp	038-2811 037-0053	0173-42-7575 0173-42-7575		つがる市森田町上相野若緑61 つがる市森田農村環境改善センター	038-2811	0173-34-8811 0173-34-8816	火曜日	12:30	
五所川原イグナング	小田桐 浩	038-2805 つがる市木造越水長谷川1164-24	0173-26-3503/0173-26-4562 yuuki-h@hasegawa-setubi.com	037-0053 037-0053	0173-34-8811 0173-34-8816		五所川原市宇布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	037-0053	0173-34-8811 0173-34-8816	木曜日 (第2・4)16:30	(第2・4)16:30	

クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	TEL / FAX		〒 例会場所	TEL FAX		例会曜日	例会時間
				E-mail						
弘前	三上 信吾	太田 哲也	弘前市上鞆師町24-1 ホテルニューキヤッスル 5F	0172-33-7678/0172-33-5250	036-8354	弘前市上鞆師町24-1 ホテルニューキヤッスル	0172-36-1211	0172-33-4577	月曜日	12:30 (月1回)18:30
	工藤 孝子	松下千賀子	弘前市上鞆師町24-1 ホテルニューキヤッスル 5F	0172-33-7678/0172-33-5250	036-8354	弘前市上鞆師町24-1 ホテルニューキヤッスル	0172-36-1211	0172-33-4577	水曜日	12:30 (2カ月に1回)18:00
	渡部 尚	三上 忍勇	北津軽郡板柳町大字福野田字美田45-17	0172-73-2320/0172-73-3922	038-3661	北津軽郡板柳町大字福野田字美田30-7 板柳商工会館2階	0172-73-3254	0172-73-3652	火曜日	12:30
	高橋 亮司	渡辺 恵子	黒石市大字市ノ町5-2 黒石商工会議所内	0172-52-4316/0172-52-9997	036-0307	黒石市甲徳兵衛町36 赤堤灯 2F	0172-52-7336	0172-53-5594	木曜日	12:00または18:30
大鰐	山本 智	棟方 昇幸	南津軽郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢4-3 (南大鰐振興内)	0172-47-9040/0172-48-2890	038-0212	南津軽郡大鰐町大字蔵館字大鰐59-3 山忠会館	0172-48-5038		火曜日	12:30
	長谷川正之	菊池 孝顕	弘前市鉄砲町1-1	0172-32-7731/0172-32-7732	036-8354	弘前市上鞆師町24-1 ホテルニューキヤッスル	0172-36-1211	0172-33-4577	木曜日	(第1他)12:30 (その他)18:30
平賀・尾上	佐藤 昌宏	岩 俊一	平川市小和森上平田1-5 (株)メンテック・ヒロ内	0172-44-1456/0172-44-1457	036-0111	平川市町居南田166-3 南田温泉ホテルアツプルランド	0172-44-3711	0172-44-3771	火曜日	(第2・4)18:30
	福士 博之	宇野 純子	弘前市田園1-12-1 IAネットワーク(株)内	0172-27-1333/0172-27-1245	036-8086	弘前市田園1-12-1 IAネットワーク(株)内	0172-27-1333	0172-27-1245	月曜日	19:00
青森	石川佳共子	佐藤 一尚	青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	030-0812	青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	017-773-5201	木曜日	12:30
	小山 茂	齋藤 幸悦	青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	030-0812	青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	017-773-5201	水曜日	12:30
青森中央	高坂 和也	岡崎 勝弘	青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	030-0812	青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	017-773-5201	月曜日	12:30
	神 和平	須藤 一幸	青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	030-0812	青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	017-773-5201	火曜日	8:00
八戸	小林 幹夫	正部家光彦	八戸市番町14 八戸グランドホテル内	0178-43-0608/0178-43-0661	031-0031	八戸市番町14 八戸グランドホテル	0178-46-1234	0178-46-1249	水曜日	12:30
	岩山 忠義	田中 節穂	八戸市番町14 八戸グランドホテル内	0178-43-0608/0178-43-0661	031-0031	八戸市番町14 八戸グランドホテル	0178-46-1234	0178-46-1249	金曜日	12:30
三戸	矢村英一郎	釜澤 英文	三戸郡三戸町大字六日町16-1 (株)坂本印刷所内	0179-22-0171/0179-22-0163	039-0131	三戸郡三戸町大字二日町102-1 田沼本店2階	0179-23-3231	0179-22-3231	水曜日	12:30
	豊田 孝夫	江渡 恵一	三戸郡五戸町市川道十文字3-2 めぐみ保育園内	0178-62-2551/0178-62-6892	039-1522	三戸郡五戸町苗代沢3 まきば温泉	0178-62-5511	0178-62-5512	水曜日	2回屋例会12:30 1回移動夜例会18:30
南部	奥谷 史人	松本 保榮	三戸郡南部町大字苫米地字下宿23-1 ジャックオフアイスF 南部町商工会内	0178-38-1159/0178-38-1163	039-0802	三戸郡南部町大字苫米地字下宿23-1 ジャックオフアイスF 南部町商工会内	0178-75-1159	0178-75-1163	火曜日	12:30
	佐々木悦郎	吉田 悦子	八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル内	0178-44-3121/0178-44-3128	031-0081	八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121	0178-44-3128	火曜日	12:30
八戸南	清川 浩幸	慶徳 拓也	八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル内	080-6003-5034/0178-46-0037	031-0003	八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111	0178-43-0264	木曜日	12:30
	小西 弘晃	佐藤 泰治	八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内	hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp	031-0081	八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121	0178-44-3128	月曜日	(第1・3・4)12:30 (第2)18:30
八戸西	小林 周子	畠山 徳陽	八戸市城下4丁目9番5号 (株)5STARS内	0178-51-8642/0178-51-8643	031-0072	八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121	0178-44-3128	木曜日	(第1・3)12:30 (第2)18:30

2022-23年度 RI第2830地区 地区事務所組織表

役 職	氏 名	所属クラブ
地区ガバナー	田中常浩	む つ
地区財務委員長	宮川佐紀男	む つ
地区ロータリーの友地区代表委員	石川佳共子	青 森

地区事務所スタッフ

地区幹事長	DTTS・公式訪問担当	藤野芳孝	む つ
地区副幹事長	地区大会副実行委員長	黒沢 悟	む つ
地区副幹事長	地区研修・協議会副実行委員長	佐藤裕介	む つ 大畑 衛星
地区幹事	地区研修・協議会実行委員長	白濱 憲一	む つ
	地区大会実行委員長	波岡悦郎	む つ
	PETS実行委員長	畑中一之	む つ
	ガバナーエレクト壮行会実行委員長	峯 雅夫	む つ
	月信・各種事業担当	成田行大	む つ
	地区大会・クラブ会長	柳谷 敬	む つ
	地区大会・クラブ幹事	熊谷圭之輔	む つ
	国際大会・各種事業担当	柴田文彦	む つ 中 央
	記録・IT・各種事業担当	竹内崇高	む つ
	公式訪問・各種事業担当	光野恵美子	む つ
	公式訪問・各種事業担当	村中一文	む つ
	公式訪問・各種事業担当	工藤直克	む つ
	公式訪問・各種事業担当	木村一彦	む つ
	公式訪問・各種事業担当	磯沼慎一郎	む つ
公式訪問・各種事業担当	澁谷達也	む つ	
公式訪問・各種事業担当	東 幸 順	む つ	
公式訪問・各種事業担当	前川原 亨	む つ 中 央	
事務局	地区事務所専任	浅利育子	

地区事務所所在地	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 TEL：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail:rid2830@outlook.jp [執務時間] 平日午前9：00～午後5：00
----------	---

ホ ス ト	むつロータリークラブ
コ ・ ホ ス ト	むつ中央ロータリークラブ むつ・大畑ロータリー衛星クラブ 野辺地ロータリークラブ 六ヶ所ロータリークラブ 七戸ロータリークラブ 東北ロータリークラブ

国際ロータリー第2830地区

地区規定



**IMAGINE
ROTARY**

地区資金規定	32
地区運営資金要綱	34
会合旅費等負担一覧表	35
国際平和資金規定	38
地区表彰実施要綱	39
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明 (ロータリークラブ)	42
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)	44
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (インターアクトクラブ)	46
ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会	48
危機管理委員会規定	49

国際ロータリー第2830地区 地区資金規定

第1条（総則）

国際ロータリー第2830地区の地区資金は本規定に基づいて管理運営する。

第2条（会計年度）

地区資金の会計年度は7月1日から翌年6月30日までとする。

第3条（地区財務委員）

地区ガバナーは地区資金運営のため、地区財務委員を任命する。地区財務委員は3名とし、その任期はそれぞれ3年、2年、1年とする。

委員は委員会を構成し、2年委員が委員長となる。

第4条（地区財務委員会の任務）

- (1) 地区財務委員会はガバナーが地区管理に必要な経費を調査研究し各クラブに負担要請の額を決定する。
- (2) 各クラブの負担額の決定及び変更は、地区研修・協議会、地区大会又はクラブ会長エレクト研修セミナーに出席した次期又は現会長の4分の3以上の承認を必要とする。
- (3) 委員会は、ガバナーの命に基づき、前項により決定された負担額の納入状況を管理する。
- (4) 委員長は、当該年度が終了したあと地区資金決算書を作成し、直前ガバナーに提出し、その結果を各クラブに報告する。

第5条（地区会計長）

ガバナーは地区資金の保管出納のため、地区会計長を任命する。

地区会計長は本規定に定められた資金の他、地区で扱う資金すべての保管出納の任に当たる。

地区会計長は毎年末、地区財務委員会に支払明細書を提出する。

第6条（地区資金の払込）

- (1) 地区財務委員長は決定された各クラブ負担額を各期首会員数並びに振込口座を明示して請求する。各クラブの負担額については
 - イ. 各クラブの負担額は会員1人当たり半期ごとに1万2千5百円を乗じた金額とする。

但し、衛星クラブの負担額は会員1人当たり半期ごとに6千2百50円を乗じた金額とする。

ロ. 地区はイ. に拘わらず、各クラブから申請があった場合には、会員1人当たりの負担額を当該会員についてそれぞれに記載する金額とすることができる。

1. 配偶者会員：会員の配偶者を会員とするときは半期ごとに2千5百円
2. 後継者会員：会員の事業後継者を会員にするときは半期ごとに5千円

ハ. 各クラブは地区に上記（配偶者会員・後継者会員）の適用を求めるときは別紙様式によりグループを担当するガバナー補佐を通じて申請することとする。

ニ. 地区は諮問委員会に当該申請について報告するものとする。

- (2) 各クラブは毎年7月1日及び1月1日現在の会員数（名誉会員を除く）により請求された負担額をその月中に財務委員長の指定する口座に振込まなければならない。会員数はR Iに報告された員数と合致しなければならない。
- (3) 新設クラブはR I承認の翌月から月割で負担する。

第7条（地区資金の支出と収支報告）

- (1) 地区資金の支出は地区各委員長の活動計画表に基づき地区委員長の請求書（後日領収書提出）又は領収書の提出により、地区会計長がガバナーの決裁を経て、その都度支払うものとする。
- (2) 資金の交付を受けて活動する場合は、年度終了後2ヶ月以内に、その活動項目と収支の明細を、ガバナーに報告しなければならない。
- (3) 上記は地区資金の他、国際平和資金等の資金すべてに適用する。
- (4) その他、活動計画外の資金は予めガバナーの承認を得た上で支出する。

第8条（地区資金の使途）

地区資金は次の費用に使用する。

- (1) 地区運営資金
- (2) 青少年奉仕活動資金

- (3) その他ガバナーが必要と認め諮問委員会の承認を得た資金

第9条（地区運営資金）

地区運営資金は次の各号に要する費用とし、その額は地区運営資金要綱に定める。

- (1) 地区研修・協議会
ホストクラブに対する補助
- (2) 地区大会
ホストクラブに対する補助
- (3) インターシティ・ミーティング（IM）
ホストクラブに対する補助
- (4) ガバナーエレクト壮行会
- (5) クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）
ホストクラブに対する補助
- (6) ガバナー補佐活動助成金
- (7) ガバナーエレクト活動助成金
- (8) ガバナーエレクト国際協議会参加への助成
- (9) ガバナー離任時に贈る記念品代
- (10) 地区拡大助成金
- (11) 国際大会地区代表出席者参加への助成金
- (12) ガバナー関連活動費
（公式訪問に対する助成、前年度承認されたクラブの認証伝達式に出席する直前ガバナー交通費、宿泊費を含む。）
- (13) 規定審議会代議員への参加費助成金
- (14) 地区チーム研修セミナー（DTTS）に対する補助
- (15) 地区研修委員会に対する補助
- (16) ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）参加に対する補助
- (17) 国際ロータリー諸事業参加助成金
- (18) ガバナーノミニール助成金
- (19) 表彰費
別に定める地区表彰実施要綱による。
（但し、状況により支出しないことがある。）
- (20) その他、地区内外の会合に出席する者に対する交通費・宿泊費のうち諮問委員会の承認を得て行う補助（但し、地区資金状況により支出しない事もある。会場所在市町村在住者には支出しない。）

第10条（本規定の改廃）

本規定の設定改廃は地区研修・協議会、又は地区大会において出席した次期又は現会長の4分の3以上の賛成を得て行う。

第11条（本規定の施行時期）

- (1) 本規定は2008年7月1日より施行する。
- (2) 本規定は2012年7月1日より改定施行する。
- (3) 本規定は2013年7月1日より改定施行する。
- (4) 本規定は2014年7月1日より改定施行する。
- (5) 本規定は2014年10月4日より改定施行する。
- (6) 本規定は2015年7月1日より改定施行する。
- (7) 本規定は2018年7月1日より改定施行する。
- (8) 本規定は2020年7月1日より改定施行する。
- (9) 本規定は2021年1月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 地区運営資金要綱

(1) 規定第9条の地区運営資金の額は、次のとおりとする。

(1)	地区研修・協議会	40万円以内
(2)	地区大会	30万円以内
(3)	インターシティ・ミーティング	1グループ 10万円以内
(4)	ガバナーエレクト壮行会	40万円以内
(5)	クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）	40万円以内
(6)	ガバナー補佐活動助成金	1グループ所属クラブ数×25,000円
(7)	ガバナーエレクト活動助成金	40万円以内
(8)	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	30万円以内
(9)	ガバナー離任時の記念品代	10万円以内
(10)	新設クラブ助成金	10万円以内
(11)	国際大会地区代表出席者参加助成金	30万円以内
(12)	ガバナー活動費	200万円以内
(13)	規定審議会代議員旅費助成準備金	10万円以内
(14)	地区チーム研修セミナー（DTTS）	40万円以内
(15)	地区研修委員会	20万円以内
(16)	ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）	20万円以内
(17)	国際ロータリー諸事業参加助成金	200万円以内
(18)	ガバナーノミニー助成金	10万円以内

(2) 交通費、宿泊費は次の通りとする。

- A. 交通費 JR・私鉄・バスを利用した最短・最速の普通料金（割引運賃がある場合はそれを適用）にて支給する。
近距離や公共交通機関がない場合は別途定める。
- B. 宿泊費 実費料金での支給とし、地区外は一泊12,000円、地区内一泊10,000円を上限とする。

(3) 本要綱の改廃は、地区資金規定第10条を準用する。

(4) 本要綱は2008年7月1日より施行する。

- 2012年7月1日より改定施行する。
- 2013年7月1日より改定施行する。
- 2014年7月1日より改定施行する。
- 2015年7月1日より改定施行する。
- 2018年7月1日より改定施行する。
- 2020年7月1日より改定施行する。
- 2022年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 会合旅費等負担一覧表

1. 地区大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
R I 会長代理夫妻	R I	大会	大会	地区内 P G、G E、G N、A G、 地区委員は一般会員と同様に 各自の負担とする。
G 夫妻	地区	地区	大会	
ガバナー地区事務所関係者	地区	地区	大会	
ゲスト	大会	大会	/	
他地区 G、P G、G E	本人	本人	本人・大会	
姉妹地区 G、直前 G、G E	本人	大会	大会	
来日交換学生	ス C	ス C	大会	
派遣交換学生	本人	本人	大会	
R O T E X	本人	本人	大会	
R 財団学生	ス C	ス C	大会	
R 財団学友	本人	本人	大会	
R 米山奨学生	ス C	ス C	大会	
R 米山学友	本人	本人	大会	
インターアクター	ス C	ス C	大会	
ローターアクター	ス C	ス C	大会	

2. 地区研修・協議会〈クラブ・リーダーシップ研修セミナー〉

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	協	
G E、G N、P G、 次期 A G	協	協	協	
G、G E 地区事務所関係者	地区	地区	地区	
アドバイザー、リーダー、 サブリーダー、 研修リーダー	協	協	協	
次期地区委員	C	C	C	
ゲスト	協	協	/	

3. クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	P E T S	
G E、地区研修リーダー、 G N、P G、次期 A G	地区	地区	P E T S	
リーダー、サブリーダー	P E T S	P E T S	P E T S	
G、G E 地区事務所関係者	P E T S	P E T S	P E T S	

4. IM

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区		IM	
GE、GN	本人		IM	
G地区事務所関係者	地区		地区	
GE地区事務所関係者	地区		地区	

5. 地区委員会

	交通費	宿泊費	備 考
G	地区	地区	宿泊は原則として無 必要と認められる時は地区
担当PG、GE、GN、AG	地区	地区	
ガバナー地区事務所関係者	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	

6. インターアクト・ローターアクトの指導者講習会、年次大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	地区	
担当PG、GE、GN、AG	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	
G地区事務所関係者	地区	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	

7. ガバナーエレクト壮行会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G夫妻	地区	地区	壮行会	
GE夫妻	地区	地区	壮行会	
PG、GN	本人	本人	本人	
次期AG	本人	本人	本人	
次期地区委員長	本人	本人	本人	
次期クラブ会長及び幹事	本人	本人	C	
G地区事務所関係者			地区	
GE地区事務所関係者	地区	地区	地区	

8. 地区研修委員会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		
GE、地区研修リーダー	地区	地区		
次期AG	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

9. 地区チーム研修セミナー

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		原則として宿泊は無 必要と認められた時は地区
GE、地区研修リーダー、 担当PG	地区	地区		
次期AG、次期地区委員長	地区	地区		
次期地区委員	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

10. 友好地区交流事業

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
当地区関係者	本人	本人	本人	
友好地区関係者	本人	本人	交流会	

11. 地区指導者育成セミナー

地区大会に付随して開催されるので、交通費その他は地区大会規定に基づくものとする。

【附則】

1. 前各項の会合と同日に諮問委員会が開かれる場合は、諮問委員会出席義務者の旅費は地区で支払う。会合側では支払わない。

※ガバナー地区事務所関係者やガバナーエレクト地区事務所関係者が、諮問委員会へ出席を要請されて出席した場合には、上記に準じて旅費を支払う。

2. 前各項において出席者が地元（同一グループ）の場合には交通費、宿泊費を支給しない。

3. （地区外会合旅費等負担に関する件）

ゾーン・全国規模のセミナー等の場合、出席義務のある委員長・PG（ゾーン・全国の役員含む）及びその代理者の旅費等はガバナーの指名した範囲で地区負担とする。

4. （副ガバナーのガバナー代行に関する件）

副ガバナーがガバナーの代理として地区内の会合に出席する場合、旅費等の負担はガバナーの欄を適用する。

※地区会合旅費等負担に関する規定の改定は地区資金規定第10条を準用する。

- ◎ RI：国際ロータリー、 G：ガバナー、 PG：パストガバナー、 GE：ガバナーエレクト、 GN：ガバナーノミニ、 C：クラブ、 スC：スポンサークラブ、 AG：ガバナー補佐、 ROTEX：元青少年交換学生、
ガバナー地区事務所関係者：地区幹事長・地区財務委員長・地区会計長・地区事務所事務局員
ガバナーエレクト地区事務所関係者：次期地区幹事長・次期地区財務委員長・次期地区会計長・地区事務所事務局員

○2022年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 国際平和資金規定

国際平和資金は下記の事項に支出できるものとする。

1. 世界社会奉仕プロジェクトおよびプロジェクト参加に必要な経費。
2. 世界および日本の災害救援プロジェクト。
3. 世界社会奉仕プログラムの理念※に合致し、諮問委員会の審議を経て承認された国際奉仕部門および青少年奉仕部門のプログラム。

※世界社会奉仕プログラムの理念

世界社会奉仕プログラムは、国際奉仕に属する活動であって、ロータリアンはこのような活動を通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして、物質的、技術的、専門的援助を通じて、国際理解と親善を推進する。

(2010年ロータリー章典41.080)

○本規定は2012年7月1日より有効とする。

地区表彰実施要綱

1. R I、R財団及び地区の行う各種の表彰は、本要綱により地区表彰委員会が選考して実施する。
2. 表彰委員会の構成員はガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト及び各ガバナー補佐をもって構成する。

＜R I 表彰＞

イ) クラブの表彰

- ①ロータリー賞（ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ）
- ②意義ある奉仕賞
- ③世界インターアクト週間の表彰
- ④世界ローターアクト週間の表彰
- ⑤インターアクト・ビデオ賞
- ⑥卓越したローターアクト・プロジェクト賞

ロ) 個人の表彰

- ①奉仕部門賞（地区による表彰）
- ②奉仕部門賞（R Iによる表彰）
- ③ロータリー財団功勞表彰
- ④ロータリー財団特別功勞賞
- ⑤ロータリー財団地区奉仕賞
- ⑥超我の奉仕賞
- ⑦ポリオのない世界を目指す奉仕賞
- ⑧ポリオプラス・パイオニア賞

ハ) ロータリアン以外の表彰

- ①ロータリー最優秀学友会賞
- ②ロータリー学友世界奉仕賞
- ③ロータリー人道奉仕功勞賞

＜地区表彰＞

- イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン
- ロ) 会員増強優秀クラブ
- ハ) 出席成績優秀クラブ
- ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ
- ホ) ロータリー財団寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ヘ) 米山記念奨学会寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ
- チ) 長寿ロータリアン
- リ) その他当委員会で適当と認めたもの

3. 表彰基準

＜R I 表彰＞

R I の表彰基準による。各クラブへ公示し、ガバナーが判断し R I に推薦決定、審査される。

＜地区表彰＞

地区の行う各種表彰は、以下の基準によるものとする。ただし、表彰委員会の判断により、その年度の個別事由により本基準の主旨に沿った上での変更は認めるが、その際は、その後開催される地区諮問委員会に報告するものとする。

イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン

① クラブ表彰

当年6月末日までにガバナー補佐を通じて、各グループ内から奉仕活動優秀クラブを地区表彰委員会に提出させ審査の上、各部門に於いてそれぞれ最も優れたクラブを決定し表彰する。

② ロータリアン表彰

- ・表彰者の決定は前項に準ずるが、表彰に際しては、表彰状に添えて記念品を贈呈する。
- ・ガバナー補佐又はクラブ会長が表彰を申請するに当たっては文書のみにより優秀性が判定出来るだけの業績を必ず添付するものとする。

③ 特別表彰をガバナーが実施する。

ロ) 会員増強優秀クラブ

- ・前年度中に於ける会員の純増加数が5名以上又は増加率が10%以上のクラブとし、(同率の場合は同順位とする) 表彰する。

ハ) 出席優秀クラブ

① クラブ表彰

- ・プラチナ賞 (例会月4回、95%以上)
- ・ゴールド賞 (例会月3回以下、95%以上)
- ・シルバー賞 (例会月4回、90~95%未満)
- ・ブロンズ賞 (例会月3回以下、90~95%未満)

ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ

週報の発行や地域社会で広報活動の優秀なクラブを表彰する。

ホ) ロータリー財団寄付優秀クラブ及びロータリアン (新P H F)

① クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年間未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

② ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新P H F全員及び大口寄付者等、委員会で認めたものとする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ヘ) 米山奨学会寄付優秀クラブ及びロータリアン

① クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年間未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

② ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新米山功労者全員とする。

- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ

①クラブ表彰

- ・当該年度中の1人当たりの寄付金額（年間の寄付金額を6月末現在の会員数で除した金額）の多いクラブから5位までを優秀クラブとする。

チ) 長寿ロータリアン

- ・当年6月末日までに満80歳及び90歳に達したロータリアンに記念品を贈呈する。

4. 上記各種表彰は、地区大会又は地区研修・協議会等に於いて実施する。

5. 本要綱の設定改廃は、地区表彰委員会が発議し、地区諮問委員会の承認を得るものとする。

2022-23年度 ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明（ロータリークラブ）

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格にある「正規にRIに加盟している」とは、RIからのクラブ請求書の金額を遅延なく（国際ロータリーから60日未納の催促通知が発行されることなく）全額支払ったクラブを意味します。クラブがRI請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARYの「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください（このレポートで未納金残高が0ドルとなっていること）。RIからの請求額は、1月中旬または7月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、すぐにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標を選ぶことができますようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ・ロータリークラブ・セントラルを開く
- ・25の目標に目を通す
- ・その中から13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶ
- ・選んだ目標を達成する
- ・ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目 標	目 標 の 詳 細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額

目 標	目 標 の 詳 細
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用

2022-23年度 ロータリー賞の目標と達成の ワークシート（ローターアクトクラブ）

ロータリー賞（ローターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の22の目標のうち、少なくとも12の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指することができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。また、推薦フォームを記入する際にも参考としてください。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- ・22の目標の詳細に目を通す
- ・少なくとも12の目標を選ぶ
- ・達成したい目標を選び、「目標の設定の欄」に印をつける
- ・クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- ・年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- ・スポンサークラブまたはローターアクトクラブ会長が、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、ローターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
地区研修への参加	_____名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	_____名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が_____のコースを完了する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
年次基金への寄付	ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がローターアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。		
ポリオプラス基金のための活動	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、_____件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサークラブと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。		
ローターアクトクラブの数	本ロータリー年度に_____つのローターアクトクラブをスポンサーする。		
インターアクトクラブ	本ロータリー年度に_____つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。		
RYLAへの参加	_____名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の計画に関わる、またはRYLAに参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	ロータリープログラム（RYLA、新世代交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
オンラインでの存在感	クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月_____回更新する。		
交流活動	本ロータリー年度、通常の例会以外に_____回の交流行事を開く。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界ローターアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でローターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	卓越したローターアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。		

2022-23年度 ロータリー賞の目標と達成の ワークシート（インターアクトクラブ）

ロータリー賞（インターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の20の目標のうち、少なくとも11の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指することができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、このPDFを参照できます。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- ・20の目標の詳細に目を通す
- ・クラブのアドバイザーからの指導を受け、11の目標を選ぶ
- ・達成したい目標を選び、「目標の設定の欄に印をつける
- ・クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- ・スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- ・スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6月30日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員が地区の研修行事に出席する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
ラーニングセンターの利用	2020-21ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは1名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。		
RYLAへの参加	____名クラブの会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクターにロータリークラブ（大学基盤または地域社会基盤のどちらか）を紹介する。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月____回更新する。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ブランドリソースセンターの利用	ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	毎年のインターアクト賞に参加する。		

ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会

区 分	資 格	職 務	備 考
ガバナー指名委員会	最近5人のパストガバナーで構成する。	地区ガバナーの指名に当たる。	
地区諮問委員会	パストガバナーをもって構成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガバナーの要請により重要事項の諮問に預かる。 2. ガバナーの要請により重要会議のコーディネーター、パネリストの他、地区代議員等の職務に就く。 	ガバナーエレクトおよびガバナーノミニーは地区諮問委員会にオブザーバーとして出席する。又幹事長、次期幹事長等もガバナーの要請があればオブザーバーとして出席する事が出来る。

※旅費は資金規定の定めるところにより支給される。

国際ロータリー第2830地区 危機管理委員会規定

国際ロータリー第2830地区危機管理委員会

(名 称)

第1条 国際ロータリー第2830地区は、危機管理委員会（以降、「本委員会」と称する）を設置し、その組織及び運営に必要な事項に関して、この規定を定める。

(設立趣旨)

第2条 本委員会は、国際ロータリー第2830地区（以下、単に「地区」と言う）が実施する事項に関し、地区内各ロータリークラブ及びロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を「危機」とし、当委員会に報告のあった危機事案が当委員会の対処すべき事案であるか否かの判断を行った上で、その予防と対処、解決のために必要な提言、指導、助言を行うことを任務とする。

但し、ロータリークラブ内、或いはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く。

(対象プログラム：特に青少年奉仕関連プログラム)

第3条 本委員会の対象とするロータリーのプログラムは、前条の「危機」が発生する分野全てとなるが、20歳以上の成人が関与する場合は、日本国の法律に準拠することを原則とし、本委員会の対処すべき事案と看做さない場合がある。

青少年奉仕（新世代育成）プログラム、すなわち青少年交換・インターアクト・ローターアクト・RYLA・米山記念奨学等のプログラムにおいては、それに参加する全ての青少年（新世代）が、安全かつ健全な生活を送れるよう、生活の場で起こりうる交通・自然災害、テロ、身体的・性的・精神的侵害ないし虐待（ハラスメント）、政治的・民族的紛争などの危機に対応する。この青少年奉仕関連プログラムは、本委員会の重要対象として位置付けることとする。

(委員会の任務・業務)

第4条 本委員会は、次に掲げる任務・業務を行う。

- 1) 委員会任務：委員長によって召集された本委員会は、事態発生の場合、事実関係を調査し、対応を協議する。
- 2) 通 報：本委員会は、当該被害者及び申し立て人よりの事情聴取調査、その他必要な調査の後、法令に基づく所定の機関への通知などの要否を判断する。申し立てられた内容が犯罪に該当する場合は、速やかに刑事関係機関に通報する。
- 3) 保 護：本委員会は、該当被害者の身体、身分の保護を最優先に対処するとともに人権にも留意する。特に、将来ある青少年のため、国際ロータリーはいかなる虐待やハラスメントも容認しない「非寛容」方式を各地に要請している。本委員会も厳格な規律をもつとともに、特に未然防止に努めることを主眼とする。
- 4) 連 絡：本委員会は、必要と認めた場合には、事情聴取調査の結果を速やかに地区ガバナーへ報告し、地区ガバナーは、原則として72時間以内に、国際ロータリーに報告する。
- 5) 広 報：報道機関等の外部への対応は報道担当委員がこれに当たる。報道担当委員以外は、本委員会といえども、外部への一切の発言はこれを禁止する。
- 6) 守 秘 義 務：本委員会の委員は、その任務を遂行上知り得た情報を、外部及び他のロータリアン等に口外してはならないし、またその期間を設けない。
- 7) 研 修：本委員会は、年1回以上の委員会会議を開催する。また危機管理についての研修を必要に応じて開催する。
- 8) そ の 他：その他、危機管理、防止などに必要な業務を行う。

(委員会の組織)

第5条 危機管理委員会は下記委員をもって組織する。

- 1) 当該年度の地区ガバナーが指名するパストガバナー、またはガバナー補佐を委員長とし、直前ガバ

ナー、ガバナーエレクト、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長、青少年交換委員長、ロータリー米山記念奨学委員長、広報委員長、及びその他関連する委員会委員長・委員、そしてロータリー以外の外部有識者若干名（2名以上）をもって組織する。なお、委員には、女性、医師、弁護士を各1名以上含むものとする。

- 2) 委員長は、必要に応じて副委員長を任命することができる。
- 3) 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4) 委員長は委員会を招集し、業務を統括する。

(保険と多地区法人への加入)

第6条

- 1) 危機管理委員会は、ロータリーの事業に携わるロータリアン及び関係社会人は、全ての個人が健康保険、生命保険等に参加していることを、その任務の前提とする。また国際間の交換学生、留学生、その他のロータリー関連事業での訪問者は、個人として、その事業の開始（出国）から終了（帰国）までの期間を包含する生命・病気・障害・損害等の保険に参加することを強く推奨する。
- 2) 近年の「危機」には、ロータリークラブレベル、さらには地区レベルでの対応可能範囲を超える規模をもつ巨大事故、巨大災害、テロ事件、機密事項、個人情報漏洩等が含まれる。適切な地域や国の行政当局、国際機関との連携も必要となろうが、そのような事態に備えて、対応可能な保険に参加する必要が生じている。

但し、任意団体での保険加入は不可能なので、「一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構」(RIJYEM)等の多地区(マルチ・ディストリクト)レベルの機関を受け皿にした保険機構への加入を推進する。

(事務所)

第7条 本委員会の事務所は地区事務所に置く。

◆附則

- 1、この規定は、2017年2月1日から施行する。
- 2、この規定の改廃は、必要に応じてガバナーが見直し、地区諮問委員会に相談の上、改定することが出来る。

2022-23年度 危機管理委員会

1	委員長	パストガバナー	鈴木 唯 司	青森モーニング	医師
2	委 員	ガバナー	田 中 常 浩	むつ	
3		直前ガバナー	成 田 秀 治	五所川原イヴニング	
4		ガバナーエレクト	築 館 智 大	八戸	
5		ガバナーノミニ	花 田 勝 彦	五所川原	弁護士
6		国際奉仕委員長	白 山 春 男	十和田東	
7		公共イメージ向上委員長	上 野 実 穂	八戸中央	
8		青少年交換委員長	岡 山 信 広	六ヶ所	
9		インターアクト委員長	松 山 隆 志	野辺地	
10		ローターアクト委員長	柴 田 文 彦	むつ中央	
11		RYLA委員長	三 浦 基	青森	
12		米山記念奨学委員長	三 浦 順 子	弘前アップル	
13		外部有識者	白 取 静 子	外部	青森山田高等学校教諭
14		外部有識者	角 田 妙 子	外部	弘前聖愛高等学校教諭

四つのテスト (THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY) 2020/11 ロータリー章典より

職業奉仕の基礎として、具体的には、以下を奨励し、育む。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

上記の職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである。

- 1) 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な扱い。
- 2) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、頻繁に職業奉仕を実践することによって、クラブ自身の行動に職業奉仕を応用することによって、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らの行いと事業と職業を律すること、また、クラブが開発したプロジェクトに応えることである。

ロータリアンの行動規範 (ROTARY CODE OF CONDUCT) 2020/11 ロータリー章典より

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

